

7 8 9 80 1 2 3 4 5 6 7 8 9 90 1 2 3 4 5 6 7 8 9 100 1 2 3 4 5 6 7 8

服部文庫
117
69
1

文會雜記

常山先生著

一



117
69
1



文會雜記卷之一

備藩

湯元禎之祥識

男明善子誠校

一寛延二年己巳東役ス松崎君脩曰徂來四家雋ヲ作り弥右門ハヨク書ヲ精細ニ見ル者ナリ改メヨトテ見セラセタリ春臺即點矣ナトノ誤リタル所處ニワケ紙ヨシテ庚サレタリ徂來見テ孫右衛門ハ讀書カヤウニテ精細ナルト思フヤ弥右門カ見オトシタル所イク所モ看トテ所ニ有紙ヨセラセテ春臺ニ見セラセタルト君脩物語ニ平子彬云ケルト也子彬俗称三浦平太夫初岐侯吉保三住ヘリ

一春臺曰經濟ノリサミニストモ畢竟老子十ハ礼樂ヨステタルニアラス

礼樂テ治メラレス時ヲシリテ老子ノ一道ヲ說出セル也サレハ吾モ詩經解ヲハリテ後老子ノ注ヲスヘシトテ兼ニイハシカ老子ノ注十八九章出来セシ比物故セラレシト君俗ノ物語ナリ

一神祖遺事ハ安澹泊ノ著述ナリ深ク秘スルニヤ澹泊大ニ博識ノ學者ナリ然トモ文章ハ如何ヲホツカナシ遺事中ニ首尾檢トニ事ヲ備首級ト各レタリ供トハ云ルヘキカ備トハ云シマシトニ岡田彦右門力物語聞タリシトサレハ南郭モ本書ハ見ラレサルヤ序ハ鳩巢ノ各レタルト南郭諸コレケル

一徂來ノ政誅ハ稿ヲ焚レタルナリ 有德庵へ獻セラレタル各ナリ春臺モ見ラレサル由ナリ君俗ノ說ニ來翁モ春臺ヲハシカトシラレサルヤ一生

サホト氣ニ入ラヌヤウニテ過ラレタリト也

一壽門松ノ文章ハ小宮山本エ之進幕下カ、レテ李江晋ト作者名ヲ

セラレタリ李ノ字ノ中ニ木ノ字アサ江ノ字ノ中エノ字アリ晋ハ進ノ声ヲカリタリ甚器用ノ人ナリ故アリテ春臺ハ交リヲタシタルトナリ

一伊藤快鳳力唐音ヲ自分ニ宮音トイヘ瓦声ハ時ニカツヨシサレトモ俗語ハ隨分ヨク覺タリト春臺云ヘリ宮音ニテナキワケハ商人口ニ通スルハ縕勾宮音ハリワハ過ルニ卫アシトナリ

一土準夫一字ハ勘解由 号曲江祿千石御召院番ナリ名節ノ極テ高キ人ナリ春臺ノ病中ニモ日夜ツキリヒ居冬ニ棺槨ノセワ 小歛ナトハ大フロシキノ如クグソクヲ包ムヤウニシタルヲモ准夫ノ孺人ニスハセラレタリトナリ

一東周列國全志トニ俗語ノ書ニ帙乾隆中ニ著セル召林ノ前川携來リ三國志演義如キ召ナリ百回アリ春秋戰國ノ事略ヲ

ツリ。アツメタルモノ也

一春臺ハ召ヲ挙スル。キハメテ精密ナリ。史漢左傳ノ類悉和読要領ノ通ノ點ニ直サレタリ。皆ゴフニテヌリケシテアリ。一畫ノ十ガヒ。カ十人畫テモ改タ。サレタルトナリコレハ會業ニテ讀召毛クハシクナリタルトナリ。君脩ノ話ナリ。

一君脩カ典島大夫書トアルハ島助次郎ト云人ナリ。詩ハ極テ器用ナルタラト南郭目録ヲバ見ラレント。語ラレケリ。

一春臺徂來ニ与テ豫侯ヨシカリタル論ハ書ハイテ。グ来翁ノ方ニカヌ内来翁物故セラレタルト也。

一来翁其外モ林希逸が老莊解ハアシト云リ。金華独ガヒツカニサ、ヤキテ必希逸ガアシキニモ非ジト云ヲ。君脩ニ予希逸ガ解サノニシアラジト云シ。時右ノ如ク金華ノ咄ヲ君脩詣レリ。君脩モ云希逸カ解議論ヲノケテ文字ヲバヨク解シタリ。希逸ニテ老莊ハ解スベシト思ヘルト君脩モ云ヘリ。

一松崎子允ノ說琵琶湖ノ景日本ノ景ナリ。サツタ嶺ヨリ海ヲ望ルケシキハ唐景ナルベシトナリ。

一南郭ノ云。育才アヘリ。セワヤキタルハアレカルヘシアレニ。猜出サセテヒトリ進ムヤウニシテヨカルヘシト也。君脩エハ文章軌範ハ極メテヨクエラニタル尽ナリ。初學ノ士ニ必ヒセナラハスヘキ召ナリ。

一南郭云長門ノ詩ハ極メテリマツ也。長門ハ一風アリトオホユ精密ナル学

問ハナシスヘテ西京ニモ精密ナル學問ナシ輕浮ナル土地ナルニ至ニ吾社中ノ
今ノ才子皆キハメテ精密ニ心ヲ用ヒトナリ大内忠太夫カ文ハ千鱗カ
法ヲカヲキハメ思ヲクルシメテ悟得タルユ卫キハメテ千鱗ニ似タリ千鱗流
ノ文忠太夫ホト季ニ似タルハ少シトナリ

一君脩云太史公カ召ヲ見ルニ軍イキツタリハツタリト云カ精ク見工
ス司馬遷ハ前漢ニテモ高祖ノ世ヲ去ルニヨホト遠キユ卫キツタリハツタリ
イ詳ニシラサルヤソレヨリ後ノ史実錄ニ日本ノ軍物語ノ如キイカツテ見工
ス是ハイカナルユ卫ニヤ文人ハ武事ヲシラス又武功ヲハソシノート思ヘル故ニ
ヤキツタリハツタリノ業ノ見エタル六左傳ノミナリ左丘明ハ其時分文武
イテタワカレヌ内ニ直ニ車ニ乗リテ軍ニモ出ラシタル故カト云リ面白キ説く
一君脩云士ニハトカクニ武藝ニ精ヲ出サスヘキナリヒロフ世ノ人ヲ見ルニ武
リキ者ナリシト云リ

一徂來ハオヲ愛慕スルイ甚シキ人ナリ水足平之進カ十六歳ニテ召候ヨ來
翁ニオクシル時ソレヲ見テ悦ヒテ是シ竹溪カユキケレハ水足カトヨミ出レ
テサテモ珍ラシキ者ナリ大事ノ物ナハトテ其文ヲトリ出シ見セラシ九ニ
文字ニモ顛倒アリト云シカハ徂來色ヲ變メ左様充ナニシ顛倒ナトハ年
ユカヌユ卫アルハツノナリワレカ何妨ニナルヘキ此見識ノ勝レタル誰カ立及
ヘキトテクリカヘシムホメラレタルト也

一金華ハ左傳檀弓莊子通鑑ナト抄召シタルヲ少シバカリセナタリ外ニ

各ハ一巻モナシ常ニ右ノ抄出ノ各ヲ見テ文ヲアキタリ人ニ對テモ古学問ハコレノミナリト云リ

一宋儒已來各物ヲ注スルニ是非比ニスてス料簡ナリ其中ニ朱子ハシカラス未詳又ハ闕疑十ト云イヨ云オナシタクニテ実脉ナルオヤチナリト春臺云タルト君脩アタリ又朱子ハ古各ヲヨクニテ古各ニモ朱子下シタリニ程ナト曾テ古各ノサハキナシ朱子ノ門人ヨリ古各ハヨニスメ古各ヲハシコトサハクト心得テタルユ卫學問大ニオトロヘタリト覺エト君脩ノ說ナリ

一君脩ノ云春臺ハ博識ナレニ古各ニキハメテ精密ナリ東涯ハ古各ニハ精密ナラ子ニ博識ハ大ニ春臺ニヨエタリト覺エ来翁ハ博識ナレトモ後世ノ各ハサノニ精クニテレスソレユ卫論語微ニ古各ヲヒカレタレトモ後世ノ各ノ說ノ自分ノ見合タルモアヘタアレニヒカレスコレ後世ノ各ヲ

ハサノニ見ラレヌナリ只ムツカシクスニニクキ各ヲヨミクタクイスキニテ戚南塘カ各武備志明律ナト人ノ中ニ得ヨヘヌノナトカレタリ
一春臺ノ文ハトカク王充カ論衡又ハ潛夫論ナト云ヤウナル體^キテイチ理ヲ云トカタルニテ西京ノ奏議上書十トヤウナル文ヲヨシト云タリソ故文ヲ各ルニ深ク沉思セラル、イナシタクハ夜六ツ比ヨリ四ツ比テノ内一篇ヲ各テサノニ直サレタル、ナシリユ卫擊節ノ立ツヤウナル面白キハナシ只アリノミ云ヘタルテノイニ常ニ西京ノ文ヲ至極ヨシト云レタル故後漢文ノ如クナラレタルカト君脩云リ又春臺ハ古文辭家ニハ套語ヲ多ク用ルト云ルレトモ李カ文ニハ套語サノニ多カラス
一南郭ハモト歌人ナリ歌ト画ノ藝ヲ以テ故甲斐侯吉保ニ仕ラセタリソレヨリ詩ヲ字ヒ文ヲカキテ來翁ニ從ヒタヘリリユ卫和各ハヨクヨミ

タル人ナリ

一徂來ノ方へ數久左エ門細川侯ノ臣ユカレタル時初テ相見メソナタノ學問ハ
大カタナミラヌトニト云テ其次ニ足下ハ西海ニソタチタル人ナリ先ツ軍
軍ヲハ如何シテシタスキト問レタル也晚年ハ來翁如此軍法スカレ
タルト君脩聞タリト語レリ

一南郭云子謙ノ春秋世系ハ色ニ今アル譜牒ヲ合セテ考タルモイナリ
其中ニ子謙モ殊ノ外イリカシクナリテ抄込テオキタルトテ成就セストナリ
一白石ノ著セル東音譜ハ國字ノ音ヲ譯言シテ音ヲツケタルモイナリ
一孔安國カ召經ノ注ハイカニ説モアリテ安國ニテハアルシト云イカサ
ニモ何トヤラン心得カタキヤウナリト君脩モ云リ又君脩云春臺ハ古召
人分ハ何ニテモ信仰アレトモ家語十トノ内ニモキツト慥ニ孔門後附會
ナルヘシトナリ

ニヤトヲホエル所モアリト思バトナリ

一召ノ會読スルト云イ中華ニテハ決テナシト井子叔ハイヘリ君脩ノ云ハ
中華ノ人學間ハ多ク產アリテスル日本今テノ學者ハ舌耕メ產トスルニ止
會讀ナトセ子ハナラス勢モアルナリ又會讀ニテ召ノ見ヤウ格別精ク
ナルヘシトナリ

一千鱗カ文ハ如何ヨキ文ナルヘキヤトカクニ面白ク十キ文ナリト君脩
ノ論ナリ又春臺讀千鱗文ハキコエヌトナリト君脩ノ論ナリ
一春臺ノ春秋三家異同ハ唯三傳ノ文字異同ヲ校シタルモノ也外
春秋擬釈例ト云モノアリ代國例ヲハ弑君例ト題目ヲアケテ
注疏ナトヲヒキタルモノ也少シ出来アシク外ニ左傳ノ内ノ一ナトヲ
ヒキタル物ナリ春秋曆十トシトリ合セテ一召ニシタテ春秋經ノ注

出来ルワモリナリト見エタリト君脩語レリ

一君脩云國初ノ治 東照宮ノ御遺訓ヲ見ルニ全ク老子ノ無為ノ道ニ近シ 台徳 大猷ニ庸ノ比ノ大臣ノ議論モ全ク無為ノ道ナリ戦国一タヒ治リテ太平ナル比ナハサモアルヘシ 嚴苗時 礼制セラルヘキ時ナルヘキニ学才アル大臣十クテヲレキトナリ

一君脩云春臺ハ物ヲキハルイスキ也人ヲ會釀ニモトカク千ヨト逢時ヨリソレハ此位ノ會釀ニスヘキ人ト云格ヨ定メオカル類ナリ召ヨ読ハ六朝起テ先国字ノ召ナト見又ハ人ノ見セオキタル詩文ヲヨミ又校正ノ召ヨナレ又會業ノ下ミナトヲシ色ニセラルユ卫倦ツカハイナレ夜ハ必四ソ時ニ子ラレタルト之其言行キハメテヨリワメテ実儀ナルイ北宋ノ人物司馬温公范文正公ナトニ似タルト也行狀召ニ及ニ

トカク小学ノ嘉言善行ニ入ヘキ人ノヤウニ覺エリ也

一君脩云日本今ノ士ノ行儀カタク紀律ノリツニナリタルハ昔ヨリ大ニサカリ源正ノ時ノ士ハ風流ナルモアレトモ淫奔ナトノ類サマニ盛衰記太平記ナトニ見タルタ、クサナルトアリ今ノ世ハ中ニ左様ニナシ

コハ戦国ノ時信玄ナトヨクナツ、キ戦国ニテ

神祖ノ御世ニナリテモ人ノ氣遣、物ヲ氣ヲツケテケシオトランジトス所ヨリ行義カタクナリタルト覺ユサハ戦国ノ士ヨリモ士ノ風俗格別今ハリツハニナリタルト覺エトナリ

一君脩云子鱗力古文序記ナトニヨカルヘシ碑誌傳ノ類古辞ヨカリテ今事ヨ云ユ卫不ワリアヒナルイ召モ召テ何トヤラニ実事モウソト覺ユナリ然レト碑志ノ類ハ甚韓退之ニオトリタルナルヘシ

又韓ナトノ碑文多ク大臣官人ノ事跡ナリ千鱗ハ人ニ出アヌ
ユ卫カ町人百姓ノ碑傳ヲカキタルユ卫カ存ノ外面白ヤ事蹟ナキ
矣ト云ヘリ

一君脩云六經ハ何トモ手ヲ下スヘキ様ナシニハ先漢儒専門ノ事ノ
如ク六經ヲ中ニ才ホヘテヨカルヘシトニコレモ至極ノ確論ナリ

一紀効新召ハ徂来ノ跡ニモ召ナシト萩生七之丞云リ此召公儀
ヨリ徂来ニ校合ヲ 命セラレタル時トクト見ラレタルト也但ニ武備志

ニ出タルニテ戚南塘力汰ノ大意見ヘシト也

一明律ヲ読テ大ニ日本ハ中華ト風俗ノ寔ナルヨシリ律ニアル所ノ
罪ヲ日本ノ人ナトハヲカス人曾テナレサレハ中華人ハ日本ヨリ見レハ
千トタクサナルト覺ニ、君脩ノ評ナリ

一徂来ハ浮腫ヲ煩テ死太アリ春臺ハカク症ナリ南郭ハ大ニ養生ノ
ヨキ入ナリト君脩云ヘリ

一春臺ハ殊ノ外ニ字召ヲタ、サレタリ 字彙玉篇韻會ヲ以テセラ
レタリ其内字彙字ヲタツヌルニヨシト云リト君脩詰ナリ元禎云徳翁
ノモタケタル四部稿内一冊千ラト見タルニ上ニ召込アリ正字通ヲ
専ニ引シタリ

一君脩云朱子ハ意地ノワルキヨヤデノヤウニ見レトモ情コハクアリアーメ
ニ今ノ古学ノ古召ヲ證ニシテ論スルト云トヲ聞セニシタラハイカニセ
ハ阪セ元ヘキニ天理人欲ノ沙汰コリ止ムニシケレイカニモ自分モ古屋
ヲトリテ論アヘンムリニカサリツ召ヒテ人ヲアサムクノ生レキトハ
見エスリノ处ハ徳翁ヨク朱子ニ似ラレタルト也

一墨子城制ノ處ハ春臺ニモヨメスメ舟紙ヲシテ置ケルト也君脩云
管子ハ戰國ノ人ノ擬作ナルキカ左傳ヨリモ又古キ筈ナルニ左ナ
キ擬作ナルヘシト思ハルト也

一神祖ノ比ノ大臣本多正信ナト云類其外ノ諸將タチヲ中國
人ニクラフルニ西漢ノ初ノ比ノ人物ニ似タリト君脩ノ評ナリ

一人物ヲ論スルニ三代ハ云ニ及ハス春秋ノ人物一品ナリ戰國ノ人物
一品ナリ西京ノ人物ナトハ學問ナキ人モ用ニタツ人多シ東漢少學
問ハヤリテ二十八將ノ中ニモ學問アル人アリ又東漢ノ中比十六
學者ト用ニ立ツ人ニハ十二入アヒタルヤウナリ六朝ハ人品才トリ又學
問モムタト四六斗リカキチラシ、カト經畧ナトハ見ス見ハトテモ只四六ノ
用立ルノヤウニナリ隋唐ヨリ科舉才コリ學問モ人物モ變セリ

宋ハ一風アリテ理窟ヲ云ハリヨリツタルト云ヤウナルニテ北宋ノ諸君子一
休南宋ノ人物ニ又一變セリ元ハ云ニタラス明モ中墳空同古文ヲ唱へ
陽明道學ヲ云フ學問又大ニ變セリ又明ノ朱子ニイロニノ學者
出タリ古今ノ學變如此ト君脩ノ論ナリ

一嚴廟ハ垂拱無為ノ君ニテ下馬將軍ト云シタル酒井雅樂頭殿
何モカモ仕セラタリ　憲廟即位ニテ越後ノ驥動ヲ決断ア
リテ雅樂頭殿職ヲ削ラシテ死去ナリ実自殺セラシト云上使コソテ
尸ヲ檢セント云トキ雅樂頭殿ノ聟藤堂和泉守殿ト松平紀伊守殿
ト云ハリテ病死無疑兩人力身上ニカケテ偽アラスト云レシユリ別條ナク
尸ヲ檢セススニタルト君脩ノ話ナリ此ノ雅樂頭殿甚不尤ナル人ナリ
ト云ナリ

一君脩云孔門ノ諸子皆ニ自分ノ生レツキニテ存寄ヲ一カニヘカニテ
人ニカハラスコレニテワサヲ思フヤウニセシトニ志ナリリユ卫孔子ノ諸子ノ
志ヲ向キシ時色ニイヲ云出シタリ後世ノ學流トハ大ニ異ナリ

一子式ノ詩分ニ及ヘシ但シ諸体未具古樂府ナトハ何モナキ也

一君脩云縣次公膝東壁ナト云才子ヲ守城セシメタラハ恐ハ生ナフノ
門人黃勉齊等ニハ及ベシワク朱學ノ理窟タケキ面ニハツシツメ
タルヲハ及カタキ程ナリイカニモ但未ノ學問聖人ノ道ニ六叶ヘテレ
トモアシク心得タラハハツシテキットフニヘ處モナクナルヘキコト也

一南郭已巳ノ春氣色快クアラシテ後某カ見廻テ題壁ノ詩ヲ作り
タルヲ和セラシタル詩寒人ニ還蘇病後身江東花鳥逐青春誰知
張翰杯無恙轉自生前混酒人

一赤穗四十六士ノト佐藤五郎左門直方評判ハ仇ヲ報スルトセスノ居ル
科簡ナリトカクニ赤穂侯ノ死ハ毒ヲ食テルシタラ如キ類也タレヲ
相手ニスヘキヤウナシト云ヘリ又聖賢生レタハシカタモ有ルヘシト云リ
長沢純平モ義論アリ

一京師ノ神職羽倉齊官穿子兩人羽倉東之進岡部三四ナリ加茂
直淵ト称セシハ則三四ノトナリ三四ハ和歌ノ財古財ヲヨメリ右衛門
督君ハ殊ニ和学ニ長シタヒテ朝廷ノ典故ニ熟シタヒ三四ヲ愛ヘセ
サセ給フ東之進モ田安公ノ俸ヲ賜リシニ後俸ヲメシ放サレントセ
一正木ノカツラト云和歌ノトヨ論セシハ莊内ノ人酒井左工門尉殿ノ
家人糸五郎兵衛ト云人ノ作ナリ

一南郭ノ和簡ハトカク治道モ老子ノ流シカルヘシト思ヘリニヤ或時

語リテ云先王ノ礼樂ヲツクリ給ヘトモ治平ニナレト思召タルニ然ルニ
今太平ナハモハヤ礼樂ニモ及ハヌトナルヘシト云シト君脩ノ語ナリ

一徂來ノ學則ノ第一則ハ徂來ノ著メ書付テ額ニメバリツケテ有リ春臺ノ
トノ相見ノ時ハヤ如此ナリソレヲ殷ニニ字ヲ直サレタリ後ノ數則ハ一同ニ山
來タルトニ春臺モ學則ノ第二則ハ真ノ古文十ヘルト云レタルトニ又
君脩云日本ニテ真ノ古文ト云ハ學則ノ第二又ハ南郭集ノ中ニ
少ニアルヘシ三稿ニ見エタル長門侯ノ閑東川サラヘノ碑ナトノ類真
古文ナルヘシ南郭ノ文モ不李不王別ニ古文ノ一体面白ク徂ナセリ
詩ハ海内ニ又比類アルヘカラス子式カ詩ノ絶技ナルモ日東ノ独歩
ト称スレトモ又南郭ニハ及カタキト也文ハ真ノ古文ト云モノ南郭
集ニ少ニアルヘシ近比ニナリテ熊耳又ハ鷁殿主膳ノ文真ノ
古文辭ト云ヘシト君脩ノ話ナリ南郭モ士寧子綽ノニ子ハ千鱗流
ノ古文ナリト云レキ

一詩呑古傳ハ三十四卷アリ西京トテノ呑三十四部ヨリ詩呑ヨヒキタル
所ヲヌキ出セリ後漢ノ呑ハトラス春臺モ甚古傳ニハ骨ヲ折ラレ
タル呑トナリ十八巻已下ハ大幸伴十郎淨寫セシトナリ

一汪伯玉ノ文ハキカクハ面白ナシソレヲ元美ナトメタホメタルハ如何ナル
ニヤ心得カタキトナリト君脩說ナリ

一神祖ノ海内ヲ治メ玉ヘル治平百年ユレハ三代ニモトサルヘキナゲ更
高王ノ御子啓ソレヨリ程ナク乱レ殷ハ未詳周ハ文武成康トツ
キタレモ昭王南遷メ歸リ玉ハス日本ノ今ノ治平ハ大ニ夏周ニテサ
ル休ナリト思ハルト君脩ノ論ナリ又日本ノ公家ノ昔ノ体トカク唐ヲ

擬セラレタル物ニエ比敵山へ御幸アリテ乱ヲ避タニラトニヤウノト

モ玄宗ノ蜀ヘ幸シ徳宗ノ奉天ヘ幸シタニラ子ノヤウニ覓ニナリ

一南郭謝安ニ似タル人ナリ喜怒色ニアラハサス人ニカニハス我物スキヨ
立ラレシ人ナリト子式ノ評ナリ君俗云日本近來ノ學者皆酒童ア
リ仁舟ハ其中下戸ナリ東涯モ上戸ナリ闇舟淺見重次即モ

上戸ナリ徂来ハ下戸南郭春臺モ上戸ナリト也

一大高坂清介ハ松浦肥前守殿ノ招シ所ノ臣ナリ此人適從錄ヲ
著ス仁舟ヲ誹レル咎ナリ

一日本ノ古ノ日本紀ナトハ編年ノ体ニモアラス史ノ体ニアラス實錄ノ
駄ユエ面白キトナシ水戸ノ日本史ハ述頃出来タリコレハ本紀志
列傳ヲワケラレタルト也

一明律瑣言氷言ナト云注サミニアリ釈筌ト云モノカナカキノ如ククハシク
解ニタル物ニテオヒタシク冊數アリト春臺云レタルトニ會典ヨメカタキ
故律スニクキニト君俗說ナリ

一仁者心之従愛ノ理ト云ヤウナルト徂来モ仁舟モヤカク云テハリ
カヒセリ合セラルシ凡何ノ用モナキトナルヘシ 神祖ノ御遺訓ニ下落
ハ慈悲ト云一言ニテ安民ノ道ニ叶フジ然レハ經術ト云モメツタニ骨折
モ隙ニカセテ云トナルヘシト君俗ノ論ナリ

一武家ノ今ノ治メト云ハ韓非クリノトダシ尤刑罰ノ刻薄ナルニハ
アラ子モヒシギ付テ下ヨリトカクヲ云ハセス上ヨリ云出ストナレ六請セス
ルト云ヤウナルトハ韓非子ノ教ニ似タリ又制度ヲモウトサクメラレ
スハ老子ノ道ニ似タル所モアリト君俗ノ論ナリ

一本多佐渡守正信ナトハ陳平張良ナトノユキカタニ本佐錄ト云
物一巻アリ少シ学問モアリト見ユ但シ人ノ服セヌ人ナリ酒井雅樂頭
殿忠世ナトモ正信ト同ク武功ハ何モナキ人ナシ人ノ服シタル人ニ
コニハ其人ノ置量ニヨレルナルヘシ又 神祖ノ天下ヲ御トリ成レタルハ唐ノ
太祖ホトノ一ナルヘシ漢高祖後漢光武唐太宗宋ノ藝祖不同じ開國ノ
君ナレハ高祖光武尤勝レタル人ナリ其中太宗ナトハ容諫ノ得テノ人
ナレモ真宗ニハアルベシ様ナリ後漢光武ナトハ諫ヲコハミ怒リ玉ヘトモ何ト
ヤラン人呂ヨキヤウナリ藝祖尤ヨトリ玉ヘル歎又太宗ノ英武ハ大ニスクレ
タレハ兄ヲ殺シ内行モスクレタハ父 神祖已来ノ列君皆三綱甚正シ
コレ中華ノ天子ノ及タニハヌイナリ

一神祖已来キツトシタル制度ト云モノナシ三奉行シテ天下ヲキリモリ

允アリソツノイニ小宮山本之進ノ評判ニ 御當家ノ政ハ庄屋シタ
テナリ大庄屋名主年寄トテ三職ナリト君悠ノ詰ナリ

一子允ノ論ニ風俗ヲ害スルモノハ豈後ブシノ淨瑠璃學者ヲ害スルモ
人世説ノ風流過タルナリト云リ

一澁心ヲ勤カスモノハカナシニノ声ヨリ引勤ス物ナリト春臺ノ云レシ
ヨシ君脩ノ詰ナリ

一謝榛カ詩ニ蟋蟀夜寒、楊子宅芙蓉秋老習家池ト云詩キリニス
楊子カ宅深切ナラスヲカシキ物ナリ然ルヲ白石変化シ來リテ菡萏
花嬌西子宅鷓鴣声怨越王城トセラタル殊ニ面白キアナリ桂山
義樹ソレヲニセテ葡萄酒滿青金帳菡萏花披白板橋トセラレ
タル又大ニオトレリ又桂山ハリト白石ノ詩ヲシタヘリト君脩詰ヒリ

一左傳ノ文ニ春秋ノ例ト云ハアルシキトナリト君脩ノ話ナリ

一君脩云今テノ世上ノ詩ハ皆蘭亭流ナリ南郭流ニアラス南郭詩ハ等
カリナリニクキユ卫子式ノ明詩ノ風世ニ行ハルトナリ又子式ハ是非
トモニ千鱗カ順德大守タル時ニテノ格ヨ一生守ルトナリソレユヘ
隨分リワニ句法ヲタテタルト也又五言律ノ韻アル句ニ上●○○●

○平如此穿二字平ノ時穿一字及ナルトハ絶テナキト子式ハヨク覺エ
テラフセタリ又唐詩明詩ナトカタハシニクリテ見ラレタルニトカクニ
二字モツキテ平字ナリ南郭ハイクテモ古人ノ詩ニ穿一字及字
ナルアリトテ自分詩ニモ其通リニ用ラルトナリ

一校尉ト云ト組頭ニ君脩用タリ南郭ハ副師シカルヘキト云レタリコレハ字ヲ
新タニコシラヘテ名ヲツケタル心ナリ

一律詩ヲ作ルモノ瀛奎律體必見ルヘキトナリ宋元又ハ晚唐ノ詩ヲ
千鱗ハ染直シテ出セル多シ若使紅顏偏被冕

ト云公道世間唯白髮遺人頭上不曾饒ト云三体詩中ニアル
晚唐句ヲ染カヘゼナリ其外多シト子式ノ説ナリト君脩ノ話也

一君脩云鄭玄ハ文ハ下手ナルヘシソレ立諸注ヲナセルハ却テ奇ナル
ヤウニ見エタルナラシト也

一徂來ハ初名ハ世上ニサノニ聞スせ護園隨筆ヲ刊行已後世上ニ名ヲ
廣ク称セラレタリト也

一通雅ハ其てハ甚ダ希ニテ金三十兩ハカリノ價ナリ某ノ所藏ヲ春
臺モ借りヨミテ所ニ抄出セラレタリ寫本世ニ出テ大ニ價ヲ減セリト
君脩ノ話ナリ

一孔子家語ヲ刊スル時分八十兩入タルト也紫芝園稿刊スルニ金百両ノ
入用ナリ水明卿三十両ハカリ庄内ヨリコスヘキ苦ナリシニ物故セラ
レテ半分ハカリ来レリト紫芝園稿ハ五百張ハカリ二十巻アリトナン
詩書古傳ハ此次ニ刻ストナリ

一徐中行天目集ハ其スクナシ唐木一冊アリ青蘿館詩集ヨリ少シ
多キ位アリ極テ精選シタルモノ也子式持居ラレテイツレヤラン
諸侯へ進シタルトナリ

一千鱗少方伯、一月ノ詩三首其弟一首至テオモレシ弟三番
月ノ詩結句ナト搦革玄經若有神大ニ月ノイニ深切ナラス句モ面
白クナシイカナルヤラン合点ユカス作りカ子テセン方ナク作りタラメ
ト君脩ノ話ナリ

一李王ノ詩ヲ比視アルニ格別ノ上手下午ナリ李カ郡城樓ニ上リタル詩ニ
使君盃酒郡城樓倚檻登臨落日愁トツクレツ王カ使君盃酒一登
樓倚檻蕭條落木愁トツクレツ同シヤウナレトモ一登樓ト云一ノ字
ウレシカラス蕭條ノ字跡ヨリワイヤルヤウナリトナリ

一朱子ハ同時ニテ張南軒呂東菴十ト皆朱子ニ屈服セラレタルニ陸象
山ヒトリ服セス鵝湖ノ太極ノ論モ象山ノ云分甚尤ニ覺エ朱子モ
陸象山ヲ勁敵ト思ヒタルヤウスナリト君脩ノ話ナリ

一古人ハ多ク自分ノ材ヲヨレホトイハナスヘキト云イヲ定メ置テヨリカ
リテ専ソレヲ修メタリ孔門ハ諸賢皆其通リナリト覺ヌソヨリ
已後漢ノ賈、譚ナト不幸ニシテロサラナサスト云氏上疏、内ニ召タルホトイ
ハナスヘキナリ韓信カ高祖ニトキテ天下ヲ定メ武侯モ天下三分ノ

ヲ先主ニ云々ヘリ其言ノ如クナシタリ武侯モ平生艸廬ノ中ニキアシ
テヨラレタル内今乱世ナハモシ出タラハ天下ヲ三分ニスヘキト云々エ夫
シテ居タルナラメソレヨリ已後尤大カタ理窟ハカリ云テ自分ノ材ノ其ロ
状ノ通シナスヘキホトヲモラスト見エタリ近ク今ニ在リテ云春臺ナトモ
トカク經術ヲ治ムヘキト云見識ヲ胸中ニタクハテ何ヲスルモ皆經術ノ
為ニセルナリト見エ南郭ナトモ徂来ニ学ヒカリタル時ヨリ古文ト詩ニテ
著述不朽ノ名ヲナサンツモリタルト覺ユソレ故先見識ヲ定テコレ
ホドノイヨナシヨホスヘキト云ツモリヲセサヘ学問風ヲ捉ムコノ處早々見識
ヲ定ムヘシ又于鱗ナトモ我ハ古文ノヨメヌ一流ヲ出スヘシト云又元美力
变化自由ノ文ヲカシト互ニ云合セコソシツラヌ又モオ子皆李徒ニアラス
然ルニ同調ノ詩ヲ作ルト皆云合セラタルト覺其中ニ元美ナト才

博ニ過テ少シ見識定ラヌユエ色々變シタルヤウセ又木下順菴門下ノ
人ニモ柿原玄輔白石兩人ノ志ヲ煩菴問シニ二人ロソロヘテ天下
有用ノ學問ヲナスヘキ由ヲ云タリ玄輔ハ律學白石ハ日本ノ典故
明ナル學問ヲセラレタリ是等モソレホトノヲナスヘキト云アラカシメ
ツモリヲ定メテトリカ、ラレタルト覺ユト君脩ノ説ナリ

一杜律劭夢弼ノ注アシキハ勿論ナリ全集ニ集注ト云カアリ和刻ニア
リ注ニ故事ヲ出シ中ニヨク覺ユト君脩ノ説ナリ

一長谷川如辰云主馬カ画至テ上手ナリ然トモ少シ格チカヒヲ咎メ
洞雲ハヨワキ画ナリ雪舟已前ノ画ハ皆カラ画ヲカキタリ雪舟ナ
ハ至テスルトク実ナル画ナリソレユ卫筆ケシヤウラシキト曾テナシ
今ノ世ニ皆ヨク召テウスキ画ナリ又云秋月ハ雪舟翁子ノ内

ニテ至極ノ上手ナリ探幽画モ探幽齋ト名タル時ノ画ハ成程ヨシ
ソレヲ過テ老年画ハ唯シャレタルハカリニテ大ニアシ、今ハ皆其ノシキ
所ヲ学フ故イヨミ下手ニナリタル又狩野家ニ画ノ傳授アリ真傳授
ラシハ何ニテモ召ル、也龍ハ大ニカ子ニヒアルモノ也又土佐家ニハ繪ノ
クノコシラヘ別ナリ今ノ狩野家ニテモコシラケレハ出来レトモ大ニ手間
ノ入ルトニ又唐画ハ筆ヨシソレユ卫細画ナト召ル、ナリ養朴ナトハ
宗對馬守殿ニタヨリテ朝鮮筆ヨ求テリレラシタキテ画筆ニユヒ
タル又今狩野家ニカク竹ハ皆東坡流ナリト云リ

一住吉内記カ繪土佐流ナリ八幡殿ヲ召タルヲ見ルニ至テウルハシキ甲冑
キハメテヤンニシタルト覚エ上手ナリ如辰モ大ニ賞ス又相良侯臣
之繪師養朴序ナリ至テ上手ナリ今東都ニ追ワク人カツテナシト

如辰語レリ

一春臺ハ漢魏叢書ヲ三十餘部アルト又永懷堂ノ十三經ヲモタタ
リト元鱗云ヘリ

一徂来ハ殊ノ外二人ノオヲホメタル人ナリ春臺南郭ハ中二人ヲホメ
スツレユ卫穿子ヲトリタルト徂来ノ如クニテ中ニウコカシカタキ人ト思ハル、也仁
裔ラ紀州ヨリ千石ニテ召サレケル時辞メユカス中ニ外ヘ奉ハシ仕事
ト君脩ノ話ナリ

一君脩ノ同家中ノ人仁裔ニアヒタリシ人ノ云シハ仁裔ハ何トナク所居
リタキ人ナリサレニ太山ノ如クニテ中ニウコカシカタキ人ト思ハル、也仁
裔ラ紀州ヨリ千石ニテ召サレケル時辞メユカス中ニ外ヘ奉ハシ仕事
但シ祿多少ニヨラス少シイナリ凡國政ヲ御相談成セし候ハシ參ルヘシ

ト紀州侯へ辞セラレント之大志可觀ナリ

一天門上人ハ春臺モ詩ヲ上手トホメ徂來モ作者ト云レシ由然トモアリ上手トモ云カタレ成島道筑位ナルヘキ歎ト君脩ノ評ナリ

一徂來ハ庫一ツニ昏物ノ拂アリタルヲ金六十両ニテカハレタリ其中種ノ昏物アリテ四部稿千鱗集名山藏タンスイ洞稿天日集李集ナト明ノ昏夥シクアリシト也家財ヲウリハテヒテカハレント也誠豪傑ノシワサ也

一矢崎藤五郎ハ古昏ヲクハシク見中ニモ十三經ノ注疏テモ悉句トウヲキリテヲキタルト古郡三次郎ト論語古訓ノ名例ヲ度ミ往復復セリ三次郎ハ己巳春廿三歳ニテ卒ス才子ナリヨシキノ三次郎ハ与カナリ君脩墓誌ヲ作レリト詔レリ

一刺孟篇王充疑孟溫公夕ハヒモナキ論十ルヲ臺翁ナナリト云レシハ心得カタレト君脩說ナリ

一春臺ハ笛ノ曲七十斗モ覺ラレタリ至テ細エヨケハ笛ヲモ自ヒニカレタルトニ又十五歳ノ時八月十五夜ニ家来ノ塵劫記ヲ見居タルヲ側ヨリテ八筈ヲ合点シソレヨリ見一ヲシリ其後大本ノ塵劫記ヲカリテ見テ數字ニ忽通シタリト詔ラレント君脩云リ

一公穀ニ傳ハトクトヨヌハアルヘカテスト君脩說ナリ井文学モ同說ナリ一二十一史ハ經濟ニ志アル者ヨモ子ハナラヌ物ナルヘシト君脩モ云リ徂來ハ二十一史ハナレナル物ヨホト十五六史モアリタルト也

一萩生七之丞ハ伶利ナル人ナレバ春臺南郭モ年ニサリユ卫子トヒノ如クニ思テニ先生ノ方ヘモヤラレスソレユ卫学問スバスト也

一段ノ世ニヒタト都ヲ遷サレタルハ尤ノイナリト説アリ即遷都論ヲ春臺作ラレタルト也

一春臺ハ殊ノ外ニ字彙ヲ嗜好ナリテ何ニモ字彙ニテ正リレタリヒタト字彙ヲ出シテ音ラタ、サレタリ韻字ハ殊ニ久シカリシト也又于鱗集七百張少餘アリ春臺カソヘテ于鱗力事業ハ七百張ニキスト云レタリ

一白石ノ采覽異言ハ殊ノ外ニヨク召レタルト春臺大方ナラスホメラレタリト君脩ノ話ナリ

一儀禮ハテコヲ作りテ進退シテミタラハ濟ヘキト南郭ノ説ナリシ鄙兎ト符同ス又周礼ヲ紫芝園ニテ會アリケル時初三十人ミエタリ後ニハ君脩ト今一人ト一人ニナリテ周礼ヲ全部ヲハリト也

一中村深藏朝鮮人ニヤラレタル五論ノ中ニ中庸ハ首尾貫ヌキタル召ニハアラシ仁府ノ古樂經ノ脫簡トウタカハレタルモ有ナリト論アリ君脩モ此深藏ノ中庸ハ全部セサル召ト云ルハ甚也ナル説ナリト

一大家文範ノ點ヲ大内忠夫付タルヲ南郭見ラレテ始テ驚テサテモヨク于鱗カ文ヲ見タルトホメラレタルト也

一春臺ハ王充カ論衡ヲ殊ノ外ニ面白シト云レタリ春秋繁露ナヨモ面白カリテ読レタルト也

一國策ヲ春臺ノ方ニテ會アリシ時甚ヨミニキ物ユ卫コレハ游説立ヘリタリノナレハトカクロニテ云テニタルカヨキトテ會説ヲメイミ本文ノ通ヲ今日ノ口上ニ云テニタルト也ソレユ卫スムハキトワカレタルトナリ

一春臺ハ同社中ノ詩ヲアツメカシタルハ皆火災ニヤカレタリ其後又真觀

集ト云テ同社中ノ詩ヲ少々集メラレタルト也

一元麟云春臺ハ杜林合注ノ左傳ヲ至極ヨク字ヲ改ラレタリ常申ニ筆
ヲトリテ九ニヨリテ各ヲヨセレタルト也

一唐流ノ博識ハ東涯ナリト君脩ノ説ナリ

一中華ノ詩人詩集中僧ノ贈答ハ一円ニナキトナリ日本ノ詩人ニ殊ノ
外多シイヤナルト君脩ノ説ナリ

一南郭ハ理論ナシコレハ元麟カ流ナルヘシ元美ニハ少々論アリ政蘓ハ叙
事ノ文モ論ナリ人物スキト君脩云リ

一中華ノ人ノ詩集ノ題ヲ設テ作リタルハ一首モナシ日本ノ名家六多ク
題ヲ設ラレリソレユ卫虛景多シ

一南郭云毛傳又ハ周礼ノ鄭注ヲ列布スルハ甚ヨカラストニ其ワケハ疏ヲ

トクト見テモニカトスニス疏ヲツケテオカ子ハスニス然ルヲ疏ヲハナシテ鄭
注ハカリニテスマト心得タルハ三礼ヲシカト見ヌユ卫ニ鄭玄ハ元来文章不
エテユ卫ヲカニキ小短ク簡ヲ書トリタル注ユ卫注ノ竒ナル物ニメオキタリ
注ハカリニテ三礼カ何トスマヘキヤウナキトニ又礼記ノ鄭注ナト礼記ハ
本文ノ奥ニアリイナトヲニ其ニ出メ注シオキタリコニヤウナルトナレハ中ミ
スニナリ○儀礼ハ古人モヨメニクキトシタリコレハワサユ卫スニスニ是ハ階
ナトウシノ人形ニシテ揖讓サセ拜スル時ハ將暴ノ駒ヲ伏セナトシタテハ儀
礼ヲカニクタキスニシタルト云ヘキ也三礼ヲトクスニサ子ハ学問トハ云
カタキト也

一南郭云博物典彙ハ殊ノ外ニ重宝ニ歴代ノ制度ノ沿革ヲ出セリ

オシツラスキテ見セタル物ニ 東涯ノ制度通コレニ似タリ

一 東涯ノ學問ハ仁齋ニ倍セリ名物六帖十ト只ヌキ畧トノ心得ヘカテス
訳ナツケタル處殊ノ外志ヲ用タル物ナリ中ニ及カタキアツキ学問ナリ
制度通ナト隨分文献通考杜氏通典明會典十トヲ能ヨミテトク
トノミ込テ仕立タル物ナリ大抵畧ヲ精密ニ見タルハカリニテハナラヌ
トニト南郭語リタヒキ

一 南郭云庄傳ノ文妙ナルト杜注ノトリーハシ至極ヨシ少シト足ラヌ
ヤウナルトモアリ林堯叟ハ日本ノ句解ノ類ナリ若キ時林堯叟ヲ
モ読タルニ林カ句豆ヲヨシト思ヒシニ後トクト熟覽スルニ大ニ林注
句アシニ其子細ハ杜注ハ文勢ヲ呑込テ注セリ林ハ文勢文法ヲ
向シラスレテ注シタルユ卫アシキトナリ

一 水戸ノ大日本史新田義典傳ヲ守山彦ヨリ南郭ニカセテシユエ見
テタルト話ナリ太平記ヲスクニ真ノ文字ニ直シタルホトノ文ニテ中々ヨキ
文ニテハナシ義例ハ義公ノ定サセタヘフトナリ

一 白石ハ詩ハカリノヤウニ人々云庄文章モヨシ覇志畧ニクキトヲ殊外ニヨ
ク畧トリタルモノニト南郭云レケル但シ白石ハ文雅ニラスヘキト思ヘル
ナルホト尤ナレニ文雅ニ過レハアシキカ其口ケハ物ノ文事ナルハ実ニワイ
テ論スルカ至極ヨキナリ実ニツイテ云ヘハ文雅ナルトハ実ノウスクナル
モノ故趙ノ武靈ノ胡服ノ方カ強キトニテ実ナリ六朝ニテモ南朝ハ文雅
スキタルユ卫浮華ニナリテヨワシ何トヤラン北朝ハ人品モヨク見ユルト南郭
ノ説ナリ

一 南郭云王元美文ハ古文辭ナレトモ實ハ韓ヲ學ヲ韓ノ伎倆ヲ得タル

物ナリ諸體ヲ不残各タル所自由自在妙ヲ得タリ然トモ専門ニ
ヲサメタル文ニアラサルニヘ其年本ヨリハ一段ツ、ヲナテ見ユルニ七巻ヲ各タ
ル時サテモヨシト見レトモ枚乘ヨリハオトシリ諸文皆具通リ也

一南郭云六朝ノ文昭明選ヤウ至極ノ上手ナリ外ノ各ニ文選ニヨサメ
サルカ有ルヲ見ルニ以テノ外ニオトシリ監識ニコトニ勝レタルモノナリ又
六朝ノ末ホト詩ハアシキニスヘテ詩ハ氣運ニカルニ文章ハカリ氣運ニ
カルニ非ス其ハケハ漢魏六朝ト殷々方トリニナリテアシクナリケルヲ唐
ニテ大ニ興シタリ五代宋元トオトリタルヲ明ニテオコセリ東都ノ詩ハ
盛ナルモ真王ノ氣象アルユエニ平安ニハ詩ハナキナリトヘヨシニテ氣
運ニカル所ヲシルヘシト也

一莊子ノ注ノ下南郭云郭象ハ中ニヨレニテ向コトニ解スハト云ヤウナル

下等心ニアラスヤゾリ莊子ヲワカ一ヘテ清言スル心ナリワレユ 郭象注ニテ
莊子ヲスースト云ヤウナルハナラヌトニ又莊子ハワヤクモノエモ色モノイヲ
各タリ礼ニ各同文ト云トアリシカニハ列国ニ文ノ不同國アルト見エ
ソシヲヤクニカセテ文ノ不同ニテ各タテタルモノユエ外ノ各ニテヒキ合セ
テ解スルヲアラヌナリ

一南郭云科舉オコリテ後ハ學問唯其場ノト合スル為ハカリニシム
ユエ誠ニ文ヲ各ト云ヤウナルニテナシ官人ニナリテウニ律ヲヨニ覺テ
オレハモハヤ學問ト云トハイラヌトニソレユエ及第シタルトテ中ニ文ヲヨク
各コナストニテハ決テナシ甚文盲沙汰ノカキリナル物ナリ
一國語ト左傳ト事ノ異同アルヲ人ニ不審スレトモヨレハ丘明ヲシラヌ
故ナリ春秋ニセタル所ハ首ヨリ尾テノクラビ丘明カ洞色ナリ一年

華ニナリタルユ卫文体全同シキナリ國語ニ諸国ノイヲ聞召ニシテ左傳ノ羽翼ニシメル召ユ卫年前ニ藏メ置タル召ナリソレユ卫左傳ト事跡ノクヒチカヒタルトモアルヲ其て考ノ為ニシタルナリソレユ卫文林一樣ナラス丘明カ華ニテカサリタルニテハナシ諸方ノ聞召ヲアツメオキタルト見テヨキナリト南郭云セタリ

一七子ノ詩干鱗ハ論セス徐ヨシレ吳モヨシ體格ノタクサニナキハ謝ナリ宗子ハ成ホト汗血馬ナリオニカセテ作ルユ卫手本ニハナラス祭ハヨロヒタニ少シヨワキ詩ナリ明ナト詩ノ盛ナルモスクナケレニ七子ニテ畫タルユ卫詩ハシカシキ一ヲシルヘシ李王心易キ許殿卿ナトカ詩ヲミレハ以テノ外ニオナタリ但徐禎卿カ古駄ヨシ古樂府ナト甚ヨキ之王元美才ニカセテツクレルユ卫七言律ハ瀛奎律體ノヤウ

ナル詩カ出来タルナリ手本ニハナラヌトナリ南郭ノ論ナリ

一南郭云于鱗カ五律上手ナシトモアヘリニリツハ過タルヤウニ何大復ハ

五律一日タケオトリタリト覺リ

南郭云于鱗カ歌行ニモアヘリツハニスヘシ立絶ナ

トモ其通ナリ

一五言古ト七律トイツレカムカシキト云カタシ千鱗カ五言ハ古詩十九首ヲ
フヘニシテ其格ヲハサヌヤウニシタルユ卫ナルホトリニボ怙トモ云ヘキナリサテ古詩
十九首ノ詞ヲステ、外ノ詞ニテ作りタテニ古詩十九首ノ如ノ作ヨナサントスナ
ハイカナル上手モ叶カタシ古詩十九首ノ詞ノ外ノ詞ニトリテ隨分フルク
作りテニテモ建安ヨリ上へハ出ヌニマノ所ヲヨク合点スヘシ入文選ミ
アル晋人ヨリ格調大ニ下レリト南郭論也

一文選章句ハトカリテハシニシタリ木子善注ヲキリチメタリ李善注ハ句ノ
アヒノ注ノ入タルエ文勢カ見エストテ一段ニニ文勢ヲセオキテ注小
キリメニ入り五臣注ハ一向ニラチモナキアシキ注ナリト南郭云レケル
一春秋ニ例ト云フハナキハツ也徂来ノ説ノ如ク通鑑ニ目錄アルカ如キト云レ
シサハキをナリ例ヲタテ引合セバアヒモスヘキソレハ孔子ノ本意ニ非スト
南郭云レケリ

一南郭云今ノ朱学者ハ中ニ朱子ノ集注ノ文義スズアレニテ朱学ヲ
シタルト云ハヨカシキトニ朱子ノ召ノ解ナウ字ヲタシテオウチヤクナル
シカタニサヘト云タリサテ本文ノ趣外ナルノ主意ヨツ自分ニ立テ
云タキ時ハ自分ノ説ヲ云ス外ノ謝氏ナトノ説ニ書ツケテ人ニユツリ
テオキタリオウチヤク千萬ナル仕方ナリサテ又大學中庸ナトヲ

注スレハ小ニシカクニテ置テサテ云度トハ或問ニ云ヘタリサレハ朱字ラスルホト
ナレハ或問ヲ併テトクト見サレハ本ノ朱學ニテナシ山崎闇齋ハ日本ノ朱
學ニテハヨク呑込タリ

一南郭云今ノ学者ハ皆徠翁ニ開眼セラレテ目アキタリ文化ハ盛ナルナリ
三體詩ヲケツユウ至極ト覓テ久シク來リタル所ヲ徠翁ニテ夜カアケ
タリ然レハ文章ハイ一夕日中ヘハ至ルニシキカ近頃諸侯方ニモナクナク
詩ノ十九人三十余人アリ此十年已前守山侯ノ梅ヲ立テ諸侯ノ詩ヲア
ツメラレシニ十人トナシ又立花左近將監殿ノ公族大夫某ノ女玉蘭ト
云シ孺人ノ詩トテ見セラレシ禎ヨムニ歌行律体悉具リ楷法モコト
ナルト也

一李子鱗文ハ極メテヨメニクキ物ナリ然トモケアリ文法ヲトクト呑

込ハヨメル也左傳ナトノ文字ヲハ出サスメ文ノ轉換シテユク所ヲニセタルモノ也李カ古書ラーツ、ト出シタル所ハ何ノイモナシ右ノ通文勢ヲ学ヒタル物ナリソレユ卫古呑ラ腹中ニノコラス入レテオカ子ハ李ノ文ハ説メス也サテ明ノ典故ニ官名ト古名ヲトリ出メカキタルユ卫又説ニクシト南郭云レケル

一朝鮮人ハ一種ノ風習アリテ詩モ文モサンニナリ就中去年來聘ノ韓人イヨミワルシ君俗相手ニモ豆ラスト云レリ南郭モ予カ社中ハ云合テ一人モ出合スト云レケル又南郭ノ語ラレシニ雨森芳洲聞シニ朝鮮ハ日本ノ九列ホトアリト王氏ニ韓ヲ合セシ時ノ人數二百万トアリ奥州仙臺侯ノ人數百万ホトアリ然レハ奥州ホトモナシト見其上ニ至極ノ貪乞ソ国ナリ唯少シ日本ヨリ文ナル国ユエリンヲ以テヲシ

シタルハ是非モナキト也豊王ヨリ己未ハ猶く附庸同前、ナナルニ執政タチ学問ナキユ卫朝鮮ニケルハ苦ニシサテ日本ノ富タルヲ自ヘン心ニテサミニノ物ヲ見スルトテ馳走ニナリテウヤヘフユ卫今ハ日本ハシタテニナリテ見ルナリ文盲ノ是非ナキトナリ古キ國史ヲ見ルニ朝鮮ノ日本ニ従クル体トカク日本ヲウシロタテニトリタルト覺ユルト南郭ノ説也。

尤人ニ博物家アリ明ニモ大ニ博物家アリ楊升菴陳晦甫焦弱侯李本寧謝肇淛ナト皆物スキアヒ博物家ナリ明季ノ方以智ナトモ其通りナリ詩文ハ拙クテナラス博物家ニナリタルニ色ノイヲ古呑ノ中ヨリ見出シテ自ヘンニスル也モトヲトリタルニ但シ予中年ニテハ呑ヲヨム度ニ珍シキヲ見出シ古未ノ博物家ノシラスツセト思ヒシニ後通雅ヲ見レハ早出アリシカレハ博物家ト云モタヤスクナルイニハアラス然トモ

先ハ下段ノイト覺ユチクニ面白キ一ツニツ云出シタリニソレハタレモアリサレ
テホ允フニモ非ス又胡元瑞筆叢ハ詩藪ヨリ少シ多シ元瑞モ博物
家ナリ楊升菴カ見出レ置タルノ訛正シタルハ二百張ハカリセアリ
畢竟無益ノ爭博ヲ云フハカリノイナリ筆叢ニハ多ク古書ノイヲ
沙汰ス竹書紀年ナトヨキモノト云說ヲノセオキタルモノニト南郭ノ
說ナリ

一列祖成績ト云召安澹泊ノ著述ニテ守山侯序ヲ召キタフ
トセ南郭守山侯ニ代リテ召タヒタリキ其後神祖遺事ヲ澹
泊召シタリキヨト見タリ中ニ史筆コトルホトノ文章ニハアラスト南
郭語ラシケル

一後世ノ召ニスニス一ナトアルヲ杜氏通典文献考又ハ通鑑ノ三省

注ナトニテヒキアハセヨク考ハスニリ古召ニハ引合シテシル召スクナキ故古
召ハトカクスニスカナノイナリ鄭公ノ寐生イナシ庄トモ云サカ子トモ
云色ニ云ヘニ皆推量ノ說ニテ外ニ寐生ト云イナケハ何トオチカスヘ
キヤウナシトニカクニ何トソクルシメルユ卫其子ヲニケミタルナラント推量シテ
極ノ置ヨリ外ナシト南郭ノ說ナリ

一字召ト云モノイ蒼桔カ作テオキテ字訓ヲ許慎ヘ直傳授シタルニテモシ
古召ニアヒモンノアルヲ引合セテ訓ヲツケタリソレヲ字学家ト云モノカ
愚ナルモノニテテンクワクヨク合魚スレハ何召モヨメルト云ハヨカニキノナリ
中華ニモ字家ハ愚ナル物ナリ誠ニ論スルニニニト云ヨリ謗安キ字
ナシ然ルニ老子ニ一生ニニ生ニト云一サテニスニスニテ合魚スヘシ
一字ニノ訓ヲヨク知リタリトモ文ト云モノハ字ヲ重子アケ結合セテ義

ヲナス處中ハヨカシキユ卫ヨメカヌルトナリト南郭ノ説ナリ

一南郭云熊澤了翁ノ召ニヨメハ政ヲトル地ヲツミタル人ユ卫議論格別ナリ
其位ヲフマスメロニカセテ云時ハ云レスイハナケレニ經濟ニカケテハサハナラヌ
1ニ老子ノ知者不言ト云シハ尤ナリソレユ卫中華ニモ經濟ヲ云人皆
其位ヲフミタル人ニアラス唯後世ニカヤウナルトシリタリト云トヨ人ニ
見セシ為ハカリ也然ハ昇竜竟學問自ニシタテノトナリ其上經濟ヲツヨク
玄ハ朝廷ヲ玩フ心モアリソレユ卫予ハ決テ經濟ノトヨ云スト南郭ノ
論ナリ

一東涯ノ學問ノ如キアツキハ決テ此已後モアルヘカラスト南郭クリカヘシ
テ賞セラレケリ

一志村ニ左工門モ博識ナリ晋召ニ點ヲツクル時杜豫傳ノ人排ト云ト

不知トテ考ヘミレハ通雅ニアリト三左工門云ヘリ通雅ハ松平美濃守殿
ニエリシトナリ南郭其後韻會ヲ見タニフ時人排ノタラナルト出タリ
手近キ所ニアルト見出サリキサレハアリ博ニ過テ召ヲモ見ルヘカ
ラヌヤウニ思ルト南郭語ラタリ

一忍海上人即海雲上人ノト学問モヨホトアリ詩モナリ文ハ跋佐ノトハ
才ルト南郭語ラセキ

一石仲綠ハ若氣一通リノイ故近頃人ニ色々願ケルユ卫交ヲ絶テオキケラ
ユルシテ相見ス人カラモ今ハ直リタルトナリ板美仲ハ今ニ無賴直ラス其
上ニトカク人ヲタフテカスヲスルユ卫何トモスヘキヤウナシソレユ卫社中子出
シ置タリナシムヘキオナリト南郭ナケキ玉フスヘラ洛幾ノ間ノ學問大ニ輕
卒浮過ナシ也中ニモ大坂ニ甚シ大坂ニテハコアハ侏翁門人ニアハ南郭

門人ナト云タテリレニテロヲキ、テウシノ学問モナキ人多シ学問ノ淳
過ナル上ニ無頼ヲ加味シタリト南郭モ歎息シタヘリ

一トカク人ヨヒキタテ、学問ヲサスルト云ヤウナル先生モアリリハ衆生ヲ
濟度スル如來ノ如シ予ハヒキヨミ思案ユ卫才ヲ育スルトモ得セノアレ
ドニ置ト也ト南郭云リ

一南郭云國策ハヨミニクキ召ナレトモ游説ノキアヒイワモ同シダニシカタト
心得レハ読ルナリ又オトシ咄ニシカケテ人ヲタマスト心得レハ合意エキ
易シトナリ

一春秋ノ時分ノ卿大夫ト云モノ今ノ大名ノ家老ト云者ヨリ比ヘ見レハ
昔ノ家老ハ殊ノ外ニ重キモノ也ソレユ卫弑君テモ國人モトカクナシニ
スニタルト覺エ又ソレニテ考覧ルニ中華ニ聖人天子ニハ宗廟ト云

モノヲア冬ニタテ諸侯ハ天子ト云モノヲイタカセ配分メカテ卿ト云
モノヲ立タル處人柄ノ甚ワルキ國ト覺ユソレユ卫礼樂ニテ聖人治メ
タヘリ日本ハ礼樂ナシニ治テルヲ見レハ華人ヨリハ人柄ハヨキナリト
南郭ノ説ナリ

一先王礼樂ニテ國ヲ維持スルト云ハ左傳ニ見エタリ子產カ小國ノ
一家老ニテ大國ニタテツキ辞命ニテセリアヒタル志服シタルヲ見レハ
ヨレ礼樂維持ノカナリト南郭ノ説ナリ

一堀正超ハ堀セ
大夫王元美カ文ニ其ニナリ堀景山南湖ハ藏文ヨクカ
ケリ光ヲツニタル学者ナリ平安ニハ東涯ト此三人にてナリ平安
近所ハ皆浮過ニテ學問リチキニナキ立ヨキ人出ゲトクリ返シ南郭論セラレ

一 蔦園隨筆ハニ筆三筆モ段ニカクモリ也レカ出来スメヤミヌト南郭ノ
語レケル

一 徒翁門下ニ古文辭ヲ召トテ古召ノ詞ヲキリツキニツカ子カケテ古文
辭ナリト云モアリキソレハイテ至ラスオナリ文勢ガノ轉換スル處六カニキ
トナリ切付ハカリカ古文辭ハアラスキリヌキテ轉換スル處古ノ文ニ似サレハ
真ノ古文辭ニアラスソレユ卫ヨノ處大事ノトナリ近比士寧ナトノ古文辭
マノ處ニ氣ヲ付ラルト南郭ノ説ナリ

一 南郭云汪道昆ハ初テ古文ニ入ル時左傳ヲ学フ一十年入ヲ得スメ
文選ヲ学テ古文ニ入タルト自分ニ召置タリ今チヨト聞テハ合点ニカス
汪カ文ト文選ノ四六ノ對偶ノ文トハ大千カヒトクト見ヒハ合点エシ
ナリ六朝ノ文ハ全クキリツキノ文ナリソコノキリツキノ處ヲ合点メ文ノスカ

タハ變化メ作リタレトモキリツキハ六朝ト同ソレユ卫キリツキヨリ文ハ入タル
トエナリト南郭ノ説ナリ

一千鱗八人柄の高キ人ニテ最初古文ヲ召出シタル時大テイノ人ヲハケツ
テタルト見ユレユ卫胡元瑞ナトモ李ヲモ握髮吐哺ノ風スクナシナ
云テユナシロヲ云タリ同時代ノ人皆多ク左ヤウニ云タリ王元美ハ人カタ
ノメハ誰ニテモ文ヲ召テヤリタリト見ユレユ卫アノ如クスサニシク夥シク
文カ出来タルナルヘシト南郭ノ説ナリ

一 日本ノ昔ノ詩經國懷風等ノ中ヨリエラニ出サントストモロクナル詩
ナシ外聞アシキトナリ詩ハ近來五六十年ニ出来タリト南郭説也
一 白石詩ヲ見出メカノ体ヲ作ラタリスヘテ錦里先生ハ詩文ハ拙テレ
ハ學識ハ文選ヲ閲クカフヲ箭ナリ唐詩ヲトナ出セルハ錦里先生

ナリ錦里ハイカク十三經ヲメテ、注疏ニテ見サレハ經學ハナラヌト云々タル
由ヨシ古學ノカフヲ箭ナリト南郭語ラセキ

一芙蓉萬公モ初宋元ノ体ヲ作レルトハ自在ナリ人ノ五人カケモナリタリ
學問モ丈夫ナリ幼少ノ時文珠小僧ト云シナリ水戸義公御モテヒ
ナサレ儒官ニ成サレントアリシカニ師匠辞シケルトナリ後白石ノ詩ヲミテ
詩風ヲ變シタリ其後岡仲錫東禪寺ノ旦那ニテ徂来ヲ一相見セントナリニ中
えル故イヨミ詩ノ格調ノエ夫ヲセラレケル由徂来ヲ一相見セントナリニ中
ニ朱翁過ユキテ對面ナシワレ故南郭トヨリアヒテ詩ノ知己ナリトテ
悦ハシナリ南郭又玄方公ノ詩七律ト歌行ト至テヨシ七絕少シ次ナリ
其ワケハ必學問丈夫ナル人ニ七絶ノアシキカアルナリトニアリニ云過
テ風チーウカ少シ次三十ナリトナリ

一世說ノ段ノ詩ノタチ一種アリタトハ令韶ナト云ヤウナナリ晋書ノ
出来タル頃モ合点ユカス詞タヌヤウナルトアリト見エテ字ヲタシテ晋
晉ニ召タリソレヲ見レハ唐ノ初ニテハヤナクトスニクキト見ユシカレハ今
ニテハスニクキモ尤ナリ又王元美カ刪去タル世說ノ残リアリ今モ古世
說トテ臨川王ノ選ノ斗リノ木アリ王カ刪去リクルアトヲ見レハ
一向ニ合点ユカス面白クナクスニユートモナリ王モスデサルト勿論ナリ
詞ノタチニテ時代カラノトナリソレユ卫此度大東世誥ヲ召タルニモ
日本昔ノ詞ホメタルヤランシカリタルヤランシレス千ヨトニカキタルニホメ
タルヤランシカリタルヤラン不知ト同シトナリ時代カラノ似ヌルユ卫詞ツキ
テモ自然似タルハアチナリカシユヨツキ合テ見レハコレホメタルトモ知
レヌハシカリタルトモ知テル、ト和漢同ソヨイアンハイヲ世語ニ召タルト

也ソレユエ世語書タル處古辞ヲカラスメ多ク召名ト古辞ヲカリテ書ケハ
日本ノ其時代ノ詞似タユ卫ナリ尤少々、字ヲシテ面白召タル所モアリ
南郭語ラレケル世語ハ三鏡江談十訓抄今昔宇治拾遺シヘ、判ナト
ノ中ヨリ抜出シタルナリト南郭語ラレケ

一文雅ノ政事ヲ行フ一至極ヨキナレニ其國ノ風俗ヲ改過レハアニキ
ノニナル白石ノ如クニナサハ早竟今ノ江戸ノ公方モ室町家ノ如クナルヘキ歟
但シ白石ホトノ人ミタリニナキオセト南郭ノ説ナリ

一南郭ノ語ラレシ京洛ノ人輕浮ナリ小倉中將殿南郭ニ寄詩ヲ無
賴ノ町人ニ賴越サレシカ不在ノ時ユ卫ウケトリテアリ數年ヘテ和ナ
キユ卫成島道筑ヘ中將殿ヨリ和ノイヲ云オニサレタリ南郭成島
返答ヲ遺シ御作遺サレ辱奉存候但和ノイハ決而御断ヲ申スト

永ミト謝詞ヲ召サテ堂上方ニハ和歌ヲ大功ニナセル、由私方ニモ詩ヲ大
事ニ仕ルト其アトニ召テヤリタリト語ラレケル

一左傳ヲ見ルモ古文ノ轉換スル勢ヲヨク合点セサレハカニクタキタルトハ
云ヒシ古文ヲ解スル六カシキトマニアリト南郭ノ説ナリ

一古召ハカタハシヨリスムヘキモノニ非ス南郭老師モ若キ頃漢召ナトヲ
本文注ヘカケテトクトヨリ付召ナトシテサテ又本文ヲヰカヘシ再覧メ
アリ其後ヨク見レハ中ニスヌタシ其スニス處曾テ氣ツカサリキ
然レハ今時ウテマクリシテ客氣ニテ古召ヲヨクヨムト云類セ大カタニテ
若キ時ノ如クナルヘシト南郭語ラレケルソレユ卫古召ハアヒモシワリノアフ
处ハラニセトモ其外ハ推量ニテユノ外ニハ料簡モサノニカスト云处ハ
スニサス置ヨリ外ナレ早竟見注家ニ色ニ云ト皆スイリヨウノイ勿論ナリト

論セラレタリ

一南郭云清人ノ詩文ニ三冊ホトツ、アル二十部、モ谷林持未リテ見セタリ
明末ノアシキ風ヲウケテ作レリ但傳学ハヤハリ明季子ノ博学ヲツキ
タルト見エ清ニ詩文ナレ明史紀事本末ハイカニモヨク事ヲツリ
集メタルユ卫明ノ事ヲ見ルニ大ニ益アリトナリ

一白樂天ノ詩ノアシキト誰モ云ナレトモ長恨歌ナトノ如キ古事ヲ用
ヒテ上ヘアテハサスヨク明白ニシテシカモ情ヲ失スニ作レルハ千秋ノ絶伎元
瑞モホメタリ小督調樂天ニ擬シテ見テ初テ樂天ノ及カタキヲ
知リタリト南郭語ラレケル

一國初二文章ナキハ云ニ及ス徂未典ラルテノ内ハ文ハクラヤニナリ
羅山十ト見ツヘシ其中ニ扶桑隱逸傳ハ少シニサリタルヤウニ覺ル

ナリト南郭ノ語ナリ

一周禮儀礼ノ白文ノ刊本久シクアリコレハ點ヲヨクツケタルモノ也古代ヘノ
点ト覺ユトクトニ召ヨク見タル人ノ点ナリ亞シキ所スヨシアリ是ハ羅山
ノナホサレタルト思ハル、ト南郭ノ語ナリ

一南郭云清人ノイ作ニ古今通韻ト云モノアリ古韻ノイフトクトセニキ
シテ詩ヲ次ニスル人アリソレハ詩ノムカシキアンハイヲ知ラサル故ナリトクリカヘ
シ、説ケル

一南郭云今ノ諸侯カタノ詩ヲ作ラルハ貪窮ユ卫外ノ大ナル奢侈ナラ
シテ詩ヲ次ニスル人アリソレハ詩ノムカシキアンハイヲ知ラサル故ナリトクリカヘ

一南郭云今ノ諸侯カタノ詩ヲ作ラルハ貪窮ユ卫外ノ大ナル奢侈ナラ

テ学問へ奔リタニヲカシキトナリト語レケル

一南郭云日本ノ学者中華ヲメツタニ文物國ト覺タリ中華ノ人ハソモ
スサニシキ学問アルト覺テ先ツサキヘケテカルハロヲシキトナリ中ニ左ニ
ハナシ唐ノ人ノ中ニ詩文ノ上手澤山ニキニテ知ルヘシト語ラレケル

一仁蔚ノ實德ト熊澤ノ才ト予カ学文ヲ合テ聖人カ出来スヘレト
徠翁云レタルト菅道伯語レリ

一井子叔東海寺ニ游テ服惠卿ノ墓ヲミルニ表ニ隸字碑陰ニ南郭
老師文ヲエリタリ前水ヲタムル石アリ墓盤トホリタリト子叔語レリ
一東壁ノ游相紀事ノウラニ徂来ノ召タル語此記有山生猶是八戒
黒旋風邪八戒ノート云人ノ名玄奘カ天竺ニ游タル時供シノル人
ニテタニシキ云タルト也

一艾子園画傳六冊至極ノ好本ナリサニキ仕立花鳥モアリ唐繪手本
此上ナ木見工侍リス

一翼之 云七言歌行ハ儂逸ノオニテナケレハヨクハ出来ヌナリ歌行ノ
上手唐二百年ニアレトモ色ニ卫えハ少ニナラテハナシ古今和漢上手ト
云ハ南郭一人ナリ又五言律盛唐ノヤウナルハコニアリ後曾テナシ明
一代ノ上手何大復カ五律ト云トモ隨分ニ卫ニタル何カ五律ヨ
唐ノ五律ノ卫ラヒタルノヨリニ比ヘラレテモ大復カオトルヘシサテ又盛
唐ノ學フトナラハ必于鱗ニツイテ學フニシカス其ワケハ盛唐ハ自然ノ
氣運ニヨリテ出來タル詩ナリソノキ談ノ處ヲ學ヘ日本人ノ分ニテハ
メシタニヨワキ詩ナリテスム也于鱗カ詩ハ學問セメニシテ子リソメ
タル詩エ卫ソレニトリツキテ學ヒタルカヨシサニ于鱗カ詩ノ絶句十上一片

征鴻海上過ト云ト豆レ唐詩ニチツトニオトラヌ也又七律ノ内ニモ
唐詩ノ格調ノ自然ノ處ニ至リタルカ多シソレユ卫于鱗 目アテニメ
唐詩ヲ学フカ至極ノシカタナルヘシ七子ノ中ニモ外ノ六子ハ皆キツヲ
キカセ巧ヨハタラカセテ作リタテタル故唐詩ノ格調トハ自殊ナルヘシ
又明六歌行スクナシ空同ヲ上手ト云トモ今ニレハ作りナラヒノ
詩ノヤウニ〇文ノヲ韓退之ヲトフニテモ古テナル文ナリ古文詞ヲ
カラスメ古メキタル色ナリハテナルイナキカウラミナリト翼之云リ
王元美ハ大ニオトリタル人也柳子厚ヨリ入タルナルヘシ李子ト
クラヘカタシト云此ノ論ハ禎按スルニ翼之ノ論サンクナリ元美カ
文變化自在ナルト古今ノ一人也〇翼之亦云李カ
文面白ケレトモシヤクハイナルヤウノアリ金華ハ奇ヲ好トモ

落キヤノ十キ文ニテ下手ナリオハ敵スヘカラス金華ソ詩モ下手ナリ何ト
云トモナク平十九ハ史記ノ文ニテソシテ人ノナミタヲ落スヤウニ感ノハ史記
ナリト云翼之カ此論ハ甚尤ナル説ナリ唐詩モ史記ト同シトニテ何トモ
ナキ处感情ソリ又南郭曰何トヤラン古イキタリソレユ卫序事ノ駄十ト
古詞ヲカラスメ召レタルモ古メキテ出来タチタルトナリ又元美カ詩父ヨリ
ヨシト云此論禎未心服翼之又云子式カ詩ハ隨分ニ出来タルハ梁有譽位
ニナルヘシ又云金華ノ文ノ中ニテハ召曉上手ナリト〇万菴ノ擬作于鱗
ニ擬シタルハキツト似タルトモ思ハレス孟洪然ナトニ擬セラレタルヨク似タリ
〇中華前後漢ノ文ヨキト云トモ一二篇ニスキス後世ノ文人ハ皆其體ナ
リ下手ナカラ其體ニテカチヲ取タルモノナルヘシ

一上野君則

忠倣一字千藏秋元但馬守殿家臣

語ケルハ春臺琴ノ一ニ舟脚尋古之度旨井レ

河内守殿奉行職^{時社} 潤指帝ヲ以春臺ヲ召サル春臺曰ニアハ樂人ニ非ストテ

出ス三日ヲ經テ河内守殿ノ邸ニ至リテ純ハ樂人ニテ候ハスソレユ卫樂ノト得
不申上候文学ノト御尋成セレ候ハ可申上候トアリ河内守殿用人モ
尤ナリト云シトソ君則ハ春臺ニ從学スルト三年ナリシト語レリ又云東涯ノ
遺文ヲ觀シニ胡傳ヲ駒セル春ナトモ入テアリタリトソ易學通解ハ寫置
タルヲ火災ニカレリトナン語ラレケル

一頤舟ハ深見玄岱ノニ男ナリ飲中八仙歌ヲ石刻ス華人ノ如キ墨帖
ナリ又玄岱ノ春法ヲ受タリ玄岱ハ明ノ獨立禪師ノ弟子ナリト跋ニ
見ユ

一君脩云廣澤ノ書ハ閑國已來楷法ハアレトモ艸行ハナキニ初テ艸行ノ
昏出シタル上手ナレハ和習アリト云トモ名筆ナルヘシ徐翁ノ手ハアシキ

ヤウニ拙シトモ中華人ノ古人ト見ニ豪傑ノ故ナルヘシ東坡ニ山谷朱子ナト
年ヲ百家者流ニ惡筆ト云トモ今見レハ反ヒカタキ何トヤランヨキキ
其人物ノ勝レタル故ナルヘシ春臺ハ唐流ナレトモカタヘリタルキナリ南郭ハ巧
ナレトモ和人ノ面目アリ小楷極テ見トナリ鳥石山人ハ東都ノ第ト云トモ
和人ノ面目ヲ不免闇思恭源内 平林モ和人ヲ不免トナリ

一徂来ノ説ニ 有德廣ノ上采ヲ命セラタル時耻辱ヲステ、
仰出サルトアリケルカ大ニ譏レリ又借アケトハ何トソ海内ノ封國皆國家
ノ命ナリ御用アヌハ何トアケヨト仰出ヌソヤ御借トハ何トソヤ聞エヌトナ
リト云レシヨシ君脩ノ語リケル

一徂来晩年ニ云レシハ國脉チニリタリト覺エ其後病中ニ云レシハ國脉大ニチ
ニリ程ナク甲冑ノ入トアルヘシト云レシ由コ石脩語レリ

一 加納遠江守殿畠林須原屋新兵衛ヲ以ニ春臺へ經濟錄ヲ一覽アリ
度ヨシ実ハ上覽ニ備ヘキヨシラ云越サレタリ春臺ノ答ヘニ鄙人ノ著述
上覽ニ備ルト難有候然トモ胡乱ニ召ツケ候故清畠仕指上可申候

ヘトモ老衰其儀難仕ヨシ御斬申上ラレタルトニ其故ハ決テ内官
ヨリ物ヲ指上ルトハセテシキトナリ執政ノ内ヨリ仰下サレナハ出スヘキ

トノ意ナリ加納氏ハ紀伊侯ノ卿大夫ナリシヲ

有徳廣扈從セラレテ諸侯トナラレシナリト君脩ノ語ラレキ

一 君脩云閑思恭ノ召ハ廣澤ト其下ナリ是ハロラシキトニ廣澤ノ奴ト云
ヘキナリ師ニ似セテ似ルト云トヨキトナレ凡自分ノ持分ノ一家ヲナスヘキニ
似セ物ニナルトハ畠法斗リニカキラス文モ詩モ學問モ皆同シテ師
匠ノ奴ト云ヘキナリ

一 日本ニ轉柳流ノ文章ナレコハ徂来不効與已前ハ文章ナキ故徂来
已後ハ皆王李ヲ字ヒタルユ卫ノイナルヘキ丘野村新左門ハ彦根ノ人
名公臺字子賤春臺ノ門人ニナルヘキトテ東都ニ未リシニ春臺死ナ
ヒタリ此子賤ノ文少シ韓柳カリナリ又仁齋先生ハヨク歐陽永叔
似タルカ大學辨私擬兼問ナトハヨク出来タルハ宋文ナリ仁齋ノ大學
辨柳子厚封建論ハ甚無理ナル文ナレトモ文ノ一體ノ理窟ハヨク登
リタルモノニテ面白キトナリト君脩語レリ

一 南郭云周南病中ニ詩文稿イチヲ股子ヘ云越ル狀ヲ召テ禱ノ下ニ入テ
アリ其趣意ハ此稿門人集タリモシ世ニ傳ヘキ詩文モアラハ刪リテ節集
メ傳ヘテクレラヨト也周南病氣快復ノ頃其召院ヲ見出南郭ヘオコス
イテタ全集ハ來ラスト語ラケル周南ハ南郭ヨリ四ツ年オトリ

一君脩云天下古今難處ハ宋高宗ナルヘシ由芭徐庶ハモヤノ通ニキヨ
アルヘシ又朝鮮退渓カ集事難處ハ第一等ニシキテナリ凡早ノ決断
シタルカヨキト云アリ其說自省錄ニセタリト也

一君脩云今内官ノ勢ハ有德廣ノ時ヨリ長盛ナリ高井兵部少輔ハ
御側職ナリシカ執政ノ人モ賂賄ヲイレタマフト水野壹岐守殿本多
伊豫守殿兩人ハ老人ニ左ノミ賂賄ヲシタハス其餘ハ殊ニ多シ
御譜代ノ諸侯モ皆然ナリトナリ禎云後漢ノ宦官ノ如クノ勢ツヨク
アルヘシト思ハル也

一班馬異同ハ春臺見テタル由君脩ノ說ナリ禎古召ノ叙事ヲア
ツメテ異同ヲミセタキ一召ヲ作ルヘキトヲ語ル君脩嗟嘆シテ人ニヨカ
ルヘシト云リ

一君脩云華人ノ文ニ紀事ノ体ナシ紀事ノ体ヲ作ルホトナレハ一召ヲ著ス
ト見エタリ韓退之ニ書ヲアラハセト張藉カス、メタルニモ云ワケアリ原
道ナト取アツメテ一召トナスヘキ料簡ニヤ又純美ナル文ノ一召ワクリ
カ子タルヤ但シ順宗実錄ハ史ノ財トモニエス韓退之ノ平生ノ文
ヨリモオトリテ見ルナリ然ハ寔ヲクリスト云テ柳子厚ニ答ヘケル
モ实ハ作りニクキ故ノイ欲ナリ

一南郭ハ至テヨク文選ヲ暗誦シタヘリ君脩ノ活ナリ君脩又云中
華ノ人ハトカクヨク召ヲ著ス日本人ニハ書ヲ著ス人シ

一君則云辨道召刊ニ出テ後巫祝ノ徒板木ヲ歩破リ度ヨシ寺社
奉行松平紀伊守殿へ訴ヘニ及ケルト也

一元麟云春臺ノ漢召ヲ見ハ五色ニソタル小紋ノ如クニ見エゴフシニテ

點ノアシキ所スリケシ悉ク直ニ字ヲ改メ考ヲ召込評ノ入用ニナキ處
朱ニテ喰林シタルト也

一子式或時南郭詩ハ何ヲ目當トシタラ哉ト問シシカト目當モアラス
若キ時牡丹美ヲスキテ見タルユエトヨヤラ似タルトモアルヘキト云レタルト
ナリ

一池秋平名ハ勒字ハ公敏号九霞平安ノ人ナリ元ハ大高ノ人ナリシ
東都ニ游覽ノ南郭ニモ相見シ柳澤下野松平大隅守殿ノ大夫門人
ナリ画ヲモ学ヘリ

一鷦士寧聽潮館船帰賦奉寄主人源公使君灘上雨簫颯送歸
舡雲鎖朱門闌江連墨水浮狂歌乘獨夜醉卧易鳴流且喜往
來吏重應問勝游

一顏氏家訓ハ春臺甚好シタリト也物スキ似タルユエナルヘレト君脩詒
ナリ

一春臺云中華古人ノ叙事ハ甚ヨメ易ク理論甚ヨメカタシ後世ノ文ノ理
論ハ甚ヨメヤスク叙事ハ甚ヨメニクシト云レタリ知言ナリ

一春臺曰御當家ノ末ハ大カタ盜賊ノ乱世ニキルヘレト云レタリ

一宋ノ詩アシキハ論未定ナリ明字脱ヨリ盛唐ヲヨキト見付高廷礼ニナリテ杜ハ
名ハ歌行七律立律ヨシ本字ハ絶句ヨシト呂ヲ定メタリ其後空同大供出テ
千鱗元美出ナリ歌ナト數百年衰ニハ論未定氣味アリ此後詩ノ論
如ク段ニ人出来テハ古ニ復スヘキカト春臺ノ説ナリ

一晏海上人ハ談議僧ナリ南郭詩文ノ往復アリ本多越中守殿初見アルヘレト
アリシヲ春臺トメラレタルトナリ人物スオサヘナリト君脩詒レリ

一春臺乱族傳ド云文ハ昏ルヘシトテ志不果沒セラレシコレハ異姓子ヲ養テ嗣
トスルヲ乱族ト云トナリト君脩詔レリ

一春臺ハ至テ精カノシヨキ人ニ立明日ノトヲ今日シヒ置ルモノ也ソレユエイツモ
從容トシテ居ラレタルトニ何ツ物ヲ見ルトテモ必唐本表紙ヲ和表命ニカ
墨シキタル所ヲスリケシ嚴富ニ整齊ナラシメタリ史記ナトニ元麟カムシ
如ク五色ニサイシキテアリシト也君脩詔リケル

一君脩云歐模文必ニルヘシ古文辭家ニ非トモ熟覽スヘキト也
一子式南郭ニ僧ヘ詩ノ往復ニアヒシラヒニナトイシキンニスルト云レシトナリ

一文廟ハ憲廟ノ政ニ相ゾムキ 有德廟ハ文廟ノ政ヲフトメテ破リタヒ
憲廟ヲシタヒ給テ 有德廟ハ御自分ノ御物スキヲ立ターフ故ナト

内官ノ權威起レリ

一公族大夫ト云ヲ同姓ノ大夫ト云トニ南郭ハ用ラレタリ春臺ハ公族大夫ハ
投義ノ名ナリト云レタリ

一夾鷄氏ハ鷹見三郎兵衛ナリ田原侯三宅氏ノ大夫ニテ政事ニ殊外心ヲ
勞シ甚功アル人ナリ四十有餘ニテ短命ナリ春臺屢賞セラレシ人ナ
リト也

一春臺曰唐已前出家ノ宗門ト云トシカト立スタルニ已後大ニ禪ハヤリタリ
其後破戒ノ僧多クアリシカハ明一代ニ律ノ出家多シソレユ卫明ノ世ニ詩
僧ナシ 域中ニ治心謂之内教ト云論卷微錄ニ出タリ此佛昏甚面白キ
モノ也ト云レシト君脩詔也

一東野モチト放蕩セル人ナリ金華モラチキ人柄ナリ然上モ春臺ト甚

懇意ナリシ金華ノ咄ニ天文ハ不知霄ノ明星ハヨク覓ケルト云レ
カハ春臺隱伏尼ルヲ語テシカハ始テ驚タルト也

一辨名辨道ハ春臺ト南郭ト立アヒテノ校正ナリシトナリ

一春臺ハ入門ノ序子ヲトラル、時殊ノ外六ツカシキ一ナリ其故ハ無行人ハ
門人ノ列ニ置キモナキユ卫ナリト君則詳ニ語リケル

一上路ト云ト南郭ハタヒノト云レシヨシ子式ハ御路ナリシト云レシト也

一春臺老子ノ注ハ韓非カ解老ニモトッキ莊子ヲ引合テ注スヘキ由ノ物スキ
ナリト語ラレシヨシ君則ノ話十

一元麟曰春臺ノ方會有リテ毎七ツ半頃ニスム人散メ後春臺ハカニ
ヌカスシテ直ニ其日ノ會ノ召ノ字ノ違ニ直シ又ハ考ル所ヲ召込十ト
セラレタルト語レリ

一子蘭ハ情ノコハキ人ナリヨク書ヲヨミ解スル人ナリ世說ノ會ノ時ニ春臺
トモヒタセリ合テ春臺モ大ニ驚嘆セラレタルト也

一諸侯ノ參勤月ノ制定ラレシ時大ニセンキアリシ一也ト云リ

尾張殿紀伊殿水戸殿 三月御參府御暇國主外様ノ諸侯四月ト
定ラル三四月ハ御馳走ノ心ナリ不寒不暑日ノ長キヨキ比ナリ御譜代
諸侯八六月七月交代ト定ラル十月ヨリ冬中正月二月テ北国雪フル
國ニ道路ナラス八月九月ハ西海秋風ノ起ルナレハ筑紫大名ノ參勤ナラス
ソレユ五六月ニ定ラレシ由春臺ノ語ラレシト君脩ノ話也

一今ノ人ハ利口ナルユ卫何丁モ其道ヲ不学メ自分ノ知卫ニテナスユ卫結句其
術不宜何レノイモ其道筋ト術トアリソレヲ学ヘハ骨折ラスシテナルイニ自
分ノ知卫ヲ出スト。寧アリソレユ卫市町ヲ過ルトテモ何ニテモスルイトヨク氣ヲ

トメテ見ラレタリ 备物ヲトキル類ノイモ得テナリシト春臺諾ラレシ由君則
ノ詰ナリ

一観海樓ニ過ル序ニ三田ノ長松寺ニ至テ徒翁ノ墓ヲ拜ス君脩詔リシハ
東都ニ墓碑石甚不自由ナリ春臺翁ノ墓碑石金一枚ニテ購得ラ
レタルト也

一徂来諸國ノ咄シ色ミノ一人ノ詰ルヲ隨分心ヲトメ聞レシト也沒後箱
中ニ狀ノウラヤ又古ナトニサヘシノ咄ヲ廣間ナトニテ聞タルトテ昏分置レ
タルヲ尋出シタルトヘ春臺モ又其通りナリタトハ國除シタル侯家タレ
ソレニト指ヲヨリテカソヘ立ラレテ咄サレ其外色ミノヲヨク覺ヘ居ラレ
ヌルトニ君脩詔ラレケル

一徂来ハ筭用ナラス唯紙ノハシナトニ書付テ數ヲトキナトシテミテ度量考

ヲセラタリ伶利不可當トコレニテ知ルヘシ唯八筭一テ覈ラレタル由ソレユ卫
度量考ニ少シ遙有ルヨシニ春臺クハシク改メテ字ヲ直サレタリト君脩
詔ケル

一長澤純平處士タル時赤穂ノ内匠頭殿へ呼出サルヘキ相談アリケレバ
事成ラスサテ吉良殿ノアリテ大石父子吉良ヲ殺セリ純平曰コ
赤穂ニツカヘサリシハ大幸ナリツカヘタリ凡アノヤウノ大石力徒ノ不義ヲハ
ナスシキトムヘリ純平ハ大石ヲ以テ不義トセリキコエヌ論ヘト君脩詔リケル
純平後ニ高田侯ニ仕タリニ子表明セルヲヒサニ居タキテ字ヲ教ヘ学者
ニシタテタル男ナリ

一徂来紀効新書抄アリトセコレ、縣官ヨリ命セラし出来立タル也
一子亮曰公毅二傳ハヨコニナノ理窟ヲ云タルモノナリ

一紫芝園稿ハ希級植村
孫四郎ト子ニ元ニ子シテ召タテ彫ラセタルトナリ

一徂來無器用ノ人柏子キカハ勉強精カヲ足召ニテ樂ヲ学ハレタドナリ

一春臺ハ舞樂ヲセラレタリ辻氏ヨリ免許狀ヲモラハレタリ諸子集ノ時
舞ヲニ曲ヘハレタリ舞衣ハ故沼田侯賜タルカアリシト也

一春臺ハ五ノ日ヲ定メテ在宿シテ客ヲ待タリ月ニ三ハト十ト九度ノ
會アリテ諸子集ルトナリ朝ハ六ツ過ニオキテツクヘラ羽篠ニテハラモサテ
書物ヲ読レタリ晚ハ燈ヲトホス内ハ服ヘツクヘラ片付テ小ツ久ヲ出シテ
夜ハソクヘナリシトニ写物ヲスル時ハ誤写スルトテ倦メハ必外ノ書ヲ見
テシテ誤書ナカリシトニ秋頃ヨリ冬ハ夜四ツテオキテ書ヲ見ラレ
タルトナリ抄書ハヨホトアリ群書雜抄ト名ツケ書付ラレタルカ四五冊アリ外ニ
唐詩選ノ如キ小本ニトナタル抄出ノ書アリコレハ秘セラレタルト也滄溟

集モ書寫本ヲモタレタルニ火災ニ焼レタル由後然艸ヲ嗜好テ若キ時
鉛錠何カトリアツメ簡意ニ注ラシタルカ全部出来タナタルニ是モ火災
カリタルト咄タルヨシ元麟詰リス

一如辰曰探幽ヨリ席繪ト云々始リテ画スタルタリ席画ト云々アルヘキ
アラス其子細ハヤキ華ヲアテソレテハリツケテヨク沉思サテウス墨ニテ
下画フカキ其上ニテ墨ヲイレテ本ノ画ヲカクナリソレユ卫唐画モ日本ノ
古人ノ画モ二重召キニ二重召キユ卫ニヒノ衣紋ナトナカフカアルニ重ニ
墨ノイリタルカ見エテ召違ト見ルカアルカ古人ノ真筆ニテ丁寧至
極精神ヲ當スルヲ見ルヘシカクノ如クノ心ニテ席画カ召ルヘキヤニ重画
召ト云々狩野家ノ者今ノ人夢ニモ知ラヌトナリ大事ノ秘事
ナレトモ傳授アト語レリ又牧溪ノ龍ハ本ノ龍ト云物ナルヘシ龍ニ

火卫ニカクノ本ノ悪流ノ俗ノナリトカクニ画ヲ見ツケテクル、人ナキ
ユエ今ノ世ハ俗物、至極ノアシキ處へ陷リタリト云リ又園ラスケイト云イフ
久ノ養辰朝タニ云ヘリ師ノ範図ヲ出ス画ハ用ニ立ヌナリス専門ニ唐人
父兄ト云ニモ先細ユ召ラスルト云イナシ其寂初華法ト画法トヲ学ヒテ
召ラシムテ其所長ヲ合点ノ或ハ山水或ハ人物或花鳥ト得ナフ
召テユキタリワレハ山水召ニナランオハ人物召ニナラント云テシカリ
タルトハナシト語レリ皆確論ナリ

一ソロリハ太閤豊王ノ寵セラレシ人ナリシカ太閤カ一石米ヲカヒカ子テ
ケフモカトカイアスモカトカイト狂歌セシヲ太閤聞召シソロリヲ召テ此
狂歌尤ナレトモワレ天カ下ヲ掌ニ握リタルヲ太閤カト云タルカニク
キトエタル時君カ世ハ千世ニヤ千世ニサレ石ノ岩ホトナリテ苔ノムス

テテト云タルハ天子ヲ君カト申セシト云シカハ太閤詞ナカリケルトニ
一徂来ノ和歌一世ニ一首ヨミレシニ

吉門のみりと柳枝なれて長日よりぬ学のやく

定業卿閑東下向ノ時ヨミタヒシ

足かゝの國故のきは夜泊き小舟りどくもゆの白名

一中野善久継吉字完翁楷書ハヨク書レタリ春臺モ子允東野モ此人
ノ弟子ナリ東野ヲモ徂来ハ此人タノミテ弟子ニセラレタリ完翁ハ
春臺ヲ殊ノ外ニホメラレタルトニ
一局礼ノ會春臺ニテアリシ時和刊ノ白文ノ點ヨシト春臺モ云レシトニ
一墨子ハ茅鹿門ノ序ノアルトニヨシトナリ城制ノ所ニハ春臺モ句
豆ヲセスメ置ヒタルトニ字彙ニモナキ字多シトナリ

一 関東ノ川俣^音請ノ時 藤堂和泉守殿ノ有司某ト云ハ仁^音耐ノ
門人ナリ長門侯ノ碑ヲ建テレタルトヨ聞サテニ口惜キト哉人ニ先ヲ
越セシトテナケキタルト^ノ後世ニナリテハ長門侯ノミニ普請ノヤウニ
見ニヤト云リ

一 國策ノ本ニ色ニアリ今ノ刊本自錄ハ本名トハ違アリ徂來ノ方ニ
アル本至テヨシトナリ元禎カモキタル木ハ文徵^明ノキナリト云本ナリ
同シ本ヲ子才所持セラシタリト君脩ノ詰ナリ

一 鶴士寧送人帰省北越搖落天涯秋正深故園風樹自蕭
索山中空抱荆人壁^壁世上猶傳越客吟蓬鬢全侵霜^露色菜
衣兼製薜心高堂親在好無恙重逐飛鴻此地尋子式モ此詩
ヨサラス好無恙ノ三字キユヘスト云リ穿六句モスース句ナリ

一 中院殿通^村関東久シクトメラレタルハ

後水尾帝御讓位ノイニ付前カト関東へ 仰ラルヘキトノ御知セ十カリ
リシユヘ板倉伊賀守殿通^村卿ヲ招キイカシメ御知セ十カリシト問ル、
ヨ不知ト答ラルヨシテナシリ問ルニ 勅命ニテナ泄シトアリシ故ニシラセ
タハストナリ然ハ内ミテソト知セラルヘキトナルヲ板倉殿云シ時通^村ノ
勅命ヨ肖キテ君臣ノ礼ヲ敗シ人ニ内應スル者ヤアル足下ニ関東ヨリ
京人ニシラスナトアルトヨ承リタラシハ十トカモラセラルヘキ吉ハ天子ノ
臣アリ関東ノ臣ニ非ストエレシユヘ板倉殿詞十カリキソヨリテ公家衆
関東へ下ラルホトノ人ヨハ皆抑留ヲカレシユヘ通^村卿モ久シク江戸ニ逗
留アリタルト也又。

後水尾帝ノ御讓位ハ関東ト御不和ナリ大坂ノ乱ヲ和平ニト

勅命アリシラ、台徳院殿御許容ナキヨリ事起ルトナリ

一秀頼ハ薩摩へ落行レタル云子允ノ若キ時仕ハレタル奴僕カ薩摩人ナリシカ語リ傳ニ御所ト唱ヘテ薩摩ニアリ秀頼子孫ツタハリテアリ但シ其御所ト云地ハ不知ト語リシヨシ子允ノ話ナリ

一浅見安正ハ関東ノ地ヲフテス諸侯仕ヘスト誓ヘリモシ時ヲ得義兵

ヲアケテ王室ヲ佐クヘシト云テ請獻遺言ヲ作りシナリ

一徂来ノ刑律ヲ吟味セラル、イヲ不尤ナリトテ春臺ヨリ書ヲヤテレタル由徠翁返書ニハ尤ニ存ル足下ナラテハト存候ト答テレタル書ヲ

春臺大事ニセラレタルナリ

一定家卿ノキ悪華ナル由アヘノモクグニ見エタリ

一山崎圓舟ノ文會筆錄ハ大ニ用ニタツナリト君脩モ云リ

一春臺ハ至誠ヲ積タル人ニハ家人ヲ化シタルノ竒妙ナリ皆聖人ノ如ク思ヘリトナリ元麟ナトモ臺翁ニ化セラレタル也

一仁舟ノ童子問語孟字義ニ生ノ学問見エリナリ徂来ノ答問書辨道弁名論語徵ニ徂来ノ一生ノ学術見エリナリ亞ノ通リ答ヲ作り置度ナリト君脩ノ論ナリ又云孔門ノ諸子ハワサニカケントセラル故名著サス戦國ノ諸子ハトテモワサニ施スナラヌヲ知リテ答ヲ作り然トモ一見識ヲ開キタルモノ故皆一家ヲナセリ漢已後ハ一見識ノ聞ナラヌソレユヘ人ノ論ヲヌスニテ答ヲ著セリ後世ノ答ノミルニ足スハ此ワケナルヘシト君脩ノ説ナリ

一元麟ニ春臺本多忠勝大輔殿執政忠良ヨリイリヨ一箱賜リシノ後料理セラレシニ皆久サニタルイリヨニ本多殿有司ヘ答簡ヲ以テイリコラ返サレ

不佞鄙人才小及論。カレトモ聖人ノ道ヲ質問ナサレシ為ニカク御會釈
ナサレケルトナリカク。ソツナル御會釈ハ聖人ノ道ヲ輕シ玉フトモス。キカソレ
ニ奉返上ケルト云レケルニ有司モ大ニ驚キ何分是ヨリ咎申サン使ハ
帰レタリシニ臺翁ノ奴僕。ト云シモノハ心剛ナルモノナリシカ主人ノ
申附ケルハ御返召ヲ取帰ルヘシトナリケハハイツテモ待シ一ハ不苦ト云ケ
六有司モセンカタナク中務殿へ言上ス。六大ニ迷惑シタヒ色ニト謝レタ
テ新ニイリヨラ贈ラレケルトナリ元麟語レリ

一元麟云白石ノ父ハ土屋民部少輔方ニ足輕小頭ニテアリシカ大日月
ニテニ昇進ス此人極メテ才氣アリ廢ヲ煩レテ医者來ヲ見ルニ
瘳一スト云医者イタエスハ療治ナラスト云イタエスト愈咎ラル白石ノ
母出テ医者ニ向テ吾夫ナル人ハ一生イタムト云ト士ハ云ス物ト覺

タルナルヘシツヨク痛ムト見テ其節ハ壁ニ向テ眉ヲヒソメテ痛ヲ忍フ休ナリ
吾ニモ痛トハ云スト云医者然ハ療治ナルトテ治セリトナリ又白石七歳ノ時
芝居ヲ見ニ行テ初ヨリ終テテ一ミニ記憶シテ帰ラタリトナリ此児アラ
ナルカヨクナルカ並ニナラスト云レタルトニ

一子綽云劉鳳カ李子千鱗ヲマナシタル唯一通リニコナシタルニ非ス韓ヨリ之
ノオニテ昔ノカスニナリタル处ハ用ヒス千鱗カオニテ陳言ヲサルハツニ然ル
ニ左モナキト云コナレナレハ李カオヲ韓ヨリ上ニミタリニソシルヤウニテ実ハ

ホタル也。

一子綽云長寄工遊学シ華音ヲモ聞タリ十有餘年已前イナリ譯
者トモ出合タルニ中ニアノ如クニテ用ニタツイ非ス華人ノ詩モ下年多
華音ト譯学トシリタゾトテ文韻ノ用ニ立スト其頃ヨリ首破セリ

トナリ柿慶古文門トテ譯者少文モナリタリ此人ノ一言尤ナリトアリ
文章ヲ見ルニ先題ヲ見テ吾ナレハイカヤウニ召ヘキト云々モ腹稿ニテサテ見
出リテヨレ又首段ハイカヤウニ召タスヤ次ハ如何其次ハ如何ト皆腹稿ミテ
サテ文章ヲ見テ古人トヨテ桟軸ノ合ヤ否ヲ知ヘシコレ文章ヲ見ルノ法
ナリト云タリキ甚左ナリト子綽語レリ又袁中郎ナトカ如ク召ハ何木
トモ召ルヘシ又徐翁ノ材ハ天縱ナリ文ノ面白アリ卓見ニ過タルヤエ
大約ノ説ヲ東涯見ラレテサテモく天杓ノスカタヲアリノニ召アラハ
シタリ妙ナルモノ往祖來ナラテカル文ナルヘキヤト子綽ニ語ラレシト之又
子綽エヨハ奥州三春ノ人ナリ金華ト同鄉ナリ金華ハ幼少ノ
時逢タリ二十年前江戸へ来リ舌耕ナトシテ秋本喜内ニ進付ニ
ナリ古学古文ノ才ヲ聞中ヒトリツカレヌ一ト思平安ニ遊学シ
ナリトノ評ナリ

長崎ヘモ遊学シテ十五六年前江戸ニ帰レ今ノ岡寄侯ニ仕ヘタリ
四先生文範ハ平安ニヨリシ時魚ツケタルト也又云宇野三平モ李冬
魚ツケタル由南郭ソレヲ所ニ直サレタル所ヲ不用南郭ノ序文モ三平氣
ニ入スソレユヘ南郭モ三平ハ情ノコハキ男ノ由云シト之子綽又云李文
子ノ格ナシ但シ韓非子ニヨリタル處多シト思ハル此一ハ弇州モ左云ヘト
ナリ又云士寧ト君脩ハ東都ノ文人ナリ田大心上田平藏ハ社中ノ文人
ナリトノ評ナリ

一 稊明云三王外記ハ憲廟実錄ノ出来シ時徂来キツタヒアリテ春
室モカマラレタリソレユヘ内ノイモ能ク知レタルユヘ外記モ召レタリ

一 稊明云春臺沼田侯ノ領地ニ大同二年ノ竹アリソレヲモチイテ
笛ニセラレタリ笛ノ膝竹ニクモ白ニ分ニセラレタリ隨分精力ノ厚キ人

樂太鼓モヨク覺レタリ又憲廟實錄ノ出来タル時布衣以上ノ
御役人ノ名乗入ラレタリ御用トテ書出サセラレタリソレニテアガフ年
間トリタル由春臺ノ語ラレシトナリ

一子絆云安澹泊策問三首各テ人ニ對策ヲカセラレタリ子絆モ
書レタリ中ニ云トリテノイ也

一釋明云周易反正繫辭以下ノ注ヨトサラニ能出来タルト語レリ

一奥羽軍記ヲ一覽ス新羅三郎殿奥州ヘ下ラシ歳月不詳前後ノ文
面ヲ考ルニ秋冬ノ内ノコト、見レタリ其子細ハ三郎殿對面ノ後ノ又

春夏ト云トミヘタリ其間ノイ不詳大カタ秋ト見テ然ルキ放

一徂来今ノ大御所紀州ヨリ入ラセラレシ御時云レケルハ中興此
時ナリ間部越前守ニ腹切セ國初功臣ノ諸侯ノ衰タルニ御加

恩成サレ御取立候テ民ノ耳目ヲ新ニ成サレスハ次第ニ衰ヘ行ク
ヘシト云レタリ其後一年アーリスキテ吾云如ク成カラズサテ、中興
氣象ナシトナケキテ春臺ニ語ラレタルト也

一九月十二日東歟王ヘ使ノ序大眼寺ニ至テ春臺ノ墓ニ謁ス春
臺太宰先生墓ト篆字ニテホリツケ裏ニ南郭ノ碣銘アリ末ニ
友人平安眼元喬撰東都葛辰書孝子定保タツトホリタリ其
側ニ太宰太公ノ墓アリ裏ニ徂来先生ノ文ヲホリ孝子純立トホ
リメリ

一宇亮ノ方ニテ春臺所持ノ杜林合注ヲニル至極念入テ直サレタリ
コフシニテ一魚一畫ノ訛テ直ニ青墨ニテ又名ニトナシ朱ニテ向
詠注ハ青墨ニテ向ヒニ墨ニテ書込アリ春臺ノ製セラル青墨也

見事ナリ

一子亮曰春臺詩自古傳ナトニ淨写一日ニセ七八張カシタトナリ
一九月望深川へ御代香ノ時子式ニ遍訪古今詩刪ノハナシアリ
千鱗カ卫ラニタル詩刪ハ出スシテ外ノ人名ヲカリテ詩ヲ卫ラニ元
美カ序ヲツケタル欣卫ラニヤウ何トヤラン合点ニカストエレタリ

一子式云白石ハ日本開闢已來詩ノ上手ナリ去年ノ朝鮮人トリワ
キ下午ナリ正徳艘使ノ東郭下ナルヘシト云リ

一子式云君脩十三歳ノ時東都ニ來リテ先ツ子式ニ謁ス其時十
三經ナト一周覽シ大抵古登ハヨミテ大學致知格物ノ説ナトモ
議論アリテ經義ハ中ニ人ニユツラスト古人ヲ排撃キノ甚才ニ誇レ
リ誠ニ神童ナレバソノ才氣增長セハ自負ニ過テイカナル人ニ

ナルヘキヤ大方ハアシキ人ニナルヘキト思ヒタルニ春臺トハ子允カ子テ心易キ
故タノミ可申トアリシユヘ尤然ルヘシト云テ春臺ノ門人ニナラレタルカ春臺
ノキヒシキ人ニアヒタルユヘカ今ニ至テ才氣ヨキ仁ニナリ見事ノ人物ニ
リイカニモ人呂ノ君子ニナラレタルト子式クリカヘシホメラレタリ子式
亦云春臺ノ門人ハ才モ不才モ人呂ヲトナシキトナリ是春臺ノ年
柄ト見ニ徂来南郭春臺ヲウニ出シタル人ホトアリテ氣量ノ大サ
格別違タルモノ也ト云リ

一君脩云仁斉ニ松平紀伊守殿招キ講聴ヲキニタマフ時京都所司代
公方ノ御名代ナリトテ衣服ヲ新ニマシラヘテ着テ行クタリ徂来東都
ニテ大御所御目見仰付ラレシ時美濃守殿ノ留守居御城ニ
テソナタニ高戸ニ物云タマフ 御城ハ格別ノ所ナリ物イニ高カラヌ

ヤウニト云シ時徠翁カヘミ笑テ六十テ高声ニ云ツケタル物イヒ俄ニ
ヒキクナルトニアラスト高声ニヒキワタリテ云レタリアレキヨラヌタル
トテクヤミテ後語ラシレントニ子亮又曰徠翁ヲ御目見ノト色ニ先例
御吟味アレトモ陪臣大夫ナトノ外ニカヤウノ類ノ先例ナシ然トモ徂
来御目見仰付ラルトハ学問スル者ハケニニナルヘキトテ先例ヲ
破リテ御目見檜木之間御代官ノ席ニテアリシト也

一春臺初テ徠翁ニ對面メ詩文ヲ出シテ見セラレタル時足下ハ詩文既ニ一
家ヲナセリ經学ヲ脩シタヘトエシタリ一見メ其人ノ長ヲ知ルテ徠翁

ノ長ナリト君脩カタレリ

一士寧ハ京師ニテ明霞稿ノ序ノ作者ニ学ハシ後子式ニ詩

ヲ学ヒ後ニ南郭ニラアヘテタリトナリ子式ニ詔リテ詩ヲ知ヌ人ニヨク

詩ヲ見セタヘカタキトナルト先生ハヨクタヘ玉フト大ニ嘲ロウナリシ
カハ子式足下ハ世禄ナリヨハ詩ヲ産業トス詩ヲ人ニ見セサヘ餓死ス
トアラカニ咎タルト也

一老子無名方物ノト云出タルヲ林布逸見チカヘタリ無名方物ト
トヨミテヨシ名クト活字ニスヘシト春臺云レタルト也

一春臺モ東涯ハ五朝小説百川学海説郛ノ類ヲトヒニ見ラレタルトハ
見ヘス度ヒシニタリテ見ラレタルナラメ博学ナリトホメラレタルトナリ君脩

詔レリ

一君脩子路ノ死ナレタルト左傳ノ外ニツキ物ナシ左傳アソコノ所殊ニ簡
ナリ子路ノ云ブン甚ソツナルトト覺ニ日本ノ武士ノ徒死ヨリモ又今
シキ死ヤウナルトナリ如何心得カタシ

一春臺ハ京浪久シテ居ラレタル時少ノ間醫ニナラレタルユエ理ヲハヨク
シラレタリト也

一春臺三平ニ名ヲ恒有ト付ラレタリ獲麟解ニヨレリ文章キハシナト
ニ六不常有トアリ寢ソニナヒト君脩モ思テ韓文ヲ見ルニ恒有トアリ初テ
春臺ノ読書精密ヲ知レリト君脩詰ケル

一仁齋日札中ニ好仁者范文正公司馬君實トアリ惡不仁者伊川朱子ト
アリ来翁ノ説ニ符同スト君脩云リ

一君延ハ酒キラヒ曲江ハ酒スキナリ春臺曲江ノ所ニテハ酒ヲノス君延
ミテハ數盃ヲカタムケノベルト也

文會雜記卷之一終

文會雜記卷之一

